対象校No. 1059

注4

学校コード F146310111644 注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分: 学部の設置

注1

認可

注2

鹿児島国際大学 看護学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人津曲学園 令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部

 戦名・氏名
 ソウムブシチョウ サガラ タダシ

 総務部次長 相良 正

電話番号 099-261-3211 (内線: 4112)

(夜間) 099-261-3142 (内線:)

e — mail soumu@ofc.iuk.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「○○大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、 該当番号を記載してください。

1

目次

看護学部

<₹	看護学科>	^~-§	ブ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	7
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	8
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1	S
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3	S
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 4	. 1

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人津曲学園

- (2) 大学名 鹿児島国際大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上8-34-1 〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷1-52-17

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	ツマガリ サダトシ 津曲 貞利 (平成21年4月)		
学長	オオクボ ユキオ 大久保 幸夫 (令和5 平成31年4月)	コバヤシ ジュンジ 小林 潤司 (令和5年4月)	設置認可申請時の学長就任年の修正 および任期満了に伴い令和5年4月 より学長変更 (5)
学 部 長	ッツミ ユミコ 堤 由美子 (令和5年4月)		
学科長等	チュウマン ナリコ 中馬 成子 (令和5年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください

 - <u>様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが</u>、 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	備者
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320	-	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和力	元年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和!	5年度	令和6年度	春季入学以外の - 学期区分につい	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	7	充足率	(控除後)	NHS	79
A 入学定員	, , ,	- ´ _Y	, , ,	- <u>`</u>	, ,	, X	, ,	Ý	, A	10 、人	, 80 X					
	[-	-) -]	[-	-) -]	[-	–) –]	[-	-) -]	[-	-) -]	[-]					
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	361	(-)	227 —					
]]]	355]	226 —					
受験者数	[-]	[-]	(-)	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	(-)	(-)	(-) $(-)$ $(-)$ $[-]$	_	0.96倍	_		
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	121 —					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	81	(-)	73 —					
入学定員超過率 B/A	[-]	[- <u>]</u>	[-]	[- <u>]</u>	[-]	[- <u>]</u>	[-]	[-]	[-] 1.	[—] 01	0.91					

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、 (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 - なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択して
- ください。 。 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
 - 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - 「(5)-② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科 倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	令和力	元年度	令和2	2年度	令和:	3 年度	令和4	4 年度	令和!	5年度	令和 6	6 年度	備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	UHU	5
	-	_	-	-	-	-	-	-	81	_	73	-		
1 年次	[-]	[-]	[-]			[-]					[-]	[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
									_		78	_		
2 年次	/		[-]	[-]		[-]		[-]		-	-	[-]		
	_		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
0.E.M														
3 年次						[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
	<u> </u>						_	_	_		_	_		
4 年次			,				r — 1	r — 1	r — 1	ſ – 1	r — 1	r — 1		
,							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	-		-		-	_	-		8	1	15	51		
計	[-]	[-	-]	[-]	[-]	[-]	[.	-]		
	(-)	(-	-)	(-)	(-)	(-)	(-	-)		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。 (過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ []内には、留学生の状況について、内敷で記入してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ ()内には、留年者の状況について、内敷で記入してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。 その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 に公せて教徒を記引してください。 秦香入学のみの実施の場合は、その他の学期(日本) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。 ・「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

分区	+ ** *** / 1 \	12		内訳		主な退学理由
対象年度	仕字有釵(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数 うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
∆ 500 € ₩		- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 🗡	令和2年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和5年度	81 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和6年度	151 人	1 人	令和3年度	- 人	- 人	
Dig 1/X			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	本学他学科への転学科
			令和6年度	0 人	- 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) ---- = --- 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b) — = - 【令和3年度】 令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b) 【令和4年度】 令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b) - = - 【令和5年度】 令和5年度の退学者数(a) 令和5年度の在学者数(b) 0 【令和6年度】 令和6年度の退学者数(a) 令和6年度の在学者数(b) 0.66 - = --

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

				主要		配	È	单位数	y	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科	目区	分	安概念	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		¢F λ	生ゼミナール	忍	新入生ゼミナール	1前	修 2	択	由	授 4	授4	師 3	教	手 2	担
				暮	データサイエンス・AI入門	1前		2		7	_		7		兼
			理・デー サイエン	ò	情報処理	1前	2								兼
			ス・AI	L	確率と統計			2							兼
					コミュニケーションカ育成	1後		2							1
	基				キャリア形成のための一般教養 I	1前		2							兼兼
	礎科			人	キャリア形成のための一般教養 II			2							
	目	١.		間	キャリア形成のための一般教養II キャリア形成のための一般教養II	1後									兼
			・ャリア ・ザイン		キャリア形成のための一般教養IV	3前		2							兼
		ľ			論理的思考と数的処理	3後 2後		2							兼
				暮ら	無性的恐者と致的処理 キャリア形成のための文章力育成			2							兼
				l	小計(11科目)	3前	4	18	0	4	4	3	4	2	兼
					日本文学	1前後	4	2	U	4	4	J	4	2	兼
					ロ 本 ス チ 外 国 文 学										兼
						1前		2							兼
					音楽文化論	1後		2							兼
					日本史	1前後		2							兼
		١.	구 단 작	人	西洋史	1前後		2							兼
		۱ ۸	、文科学	間	東洋史	1前後		2							兼
					東西文化の交流	1前		2							兼
					哲学	1前後		2							兼
					倫理学	1前後		2							兼
					心理学	1前後		2							兼
					小計 (10科目)	_	0	20	0	0	0	0	0	0	兼
看=#					法学	1前		2							兼
護学					日本国憲法	1前後	2								兼
科				暮	政治学	1前		2							兼
共		ŧ	土会科学	6	経済学	1前後		2							兼
通教	人			L	社会学	1後		2							兼
育	間教				地理学	1前		2							兼
科	養				小計(6科目)	_	2	10	0	0	0	0	0	0	兼
目	科			基		1前		2							兼
	目			'n	数学Ⅱ	1後		2							兼
		E	自然科学	い	生命科学	1前後		2							兼
				の	環境科学	1前後		2							兼
				ち	小計(4科目)	_	0	8	0	0	0	0	0	0	兼
				し暮	地域創生 I	1前		2							兼
				b	地域創生Ⅱ	1後		2							兼
				人間	Japanology	1後		2							兼
					地域から世界へ	1前		2							兼
				暮ら	かごしま教養プログラム	1前		2							兼
		+	也域志向	l	かごしまフィールドスクール	1前		2							兼
		^	- ייייירי		ボランティア活動	1後		2							兼
				人	海外インターンシップ	2前後		3							兼
				間	教養特講 I	1前		2							兼
				暮	教養特講Ⅱ	1後		2							兼
					教養特講Ⅲ	1前	L	2			L				兼
	L	L		٦	小計 (11科目)	_	0	23	0	0	0	0	0	0	兼
	шп				英語オーラル・コミュニケーションI	1前	1								兼
	=				英語オーラル・コミュニケーションⅡ	1後	1								兼
	ケート		コア	١.	英語海外研修	1前		2							兼
	ショ	英語		人間	英語リーディング	1前後		1							兼
	ンス	00		[2]	英語ライティング	1後		1							兼
	キルズ		関連		英文読解の技法	1前		2							兼

【令和6年度】

# 日 公子 大大科学 日 大大科学 日 大大科学 日 大大科学 日 日 大大科学 日 日 日 日 日 日 日 日 日					主要		T7 1/2	iii.	单位	数	専	任教	員等	の酉	置	兼任
************************************		科目	区:	分	概	授業科目の名称	年 次	必	選	自	教		講	助	助	#
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	-	_			念	1			択	由		授		-	Ė	担
### 1			-		並			2			4	4	3	4	2	
日本									2							兼1
本サリザイン 1前後 1前後 2 1前後 2 1前後 2 1前後 2 1 1前後 2 1 1前後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1	(エン				2								兼1
世界の			7	K · AI			1前		_							兼1
## 1 日		基				コミユーゲーションガ育成	1前後		2							兼1
日日					,	キャリア形成のための一般教養 I	1前		2							兼1
マー・ファデザー			١.				1後		2							兼1
本の		-					3前		2							
日本リア形成のための文章方用成 3前 2 3 4 4 3 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			٠.	イン		Į.	-									
Total					暮		2前後		2							兼1
大文科学 14							3前		_							兼1
大文科学					١		_	4		0	4	4	3	4	2	兼5
音響文化論 1前後 2 1前後 1前後 1前後 1前後 1前後 1前後 1前後 2 1前後 2 1前後 1前後 2 1前 2 1 1前後 2 1前 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1後									兼1
日本史 西洋史						外国文学	1前		2							兼1
大文科学						音楽文化論	1後		2							兼6
大文科学						日本史	1前後		2							兼1
大文科字 間 東洋史 東西文化の交流 1前後 2 1前6 2 1 1					,		1前後		2							兼1
哲学			人:	文科学		東洋史	1前後		2							兼1
倫理学						東西文化の交流	1前		2							兼1
小計 (10科目)						哲学	1前後		2							兼1
小計 (10科目)						倫理学	1前後		2							兼1
Table Ta						心理学	1前後		2							兼4
日本国憲法 1前後 2 1前 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2						小計 (10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	兼18
専門科共通教育 社会科学 1前 2 1前 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1前 2 2 2 1前 2 2 1前 2 2 2 1前 2						法学	1前		2							兼1
報告						日本国憲法	1前後	2								兼1
大通教育					暮	政治学	1前		2							兼1
A	共		社	会科学		経済学	1前後		2							兼3
1前 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1					L	社会学	1前		2							兼1
計画						地理学	1前		2							兼1
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科					小計(6科目)	1	2	10	0	0	0	0	0	0	兼8
日 1後 2 1前後 2 1前 2 2 1前 2 2 1前 2 1前 2 1前 2 2 2 1前 2 2 2 2 2 2 2 2 2	B	科			. 暮	数学 I	1前		2							兼1
Table Ta		目			6	数学Ⅱ	1後		2							兼1
大田 1 1 1 1 1 1 1 1 1			自	然科学	い	生命科学	1前後		2							兼1
本語						環境科学	1前後		2							兼2
地域創生 II 1後 2 1後 2 1前 2 2 1前 2 2 2 2 2 2 2 2 2					ち	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3
地域創生 I						地域創生 I	1前		2							兼1
地域から世界へ					5	地域創生Ⅱ	1後		2							兼1
# かごしま教養ブログラム (余日報) 1前 2 1前					人間	Japanology	1後		2							兼5
地域志向						地域から世界へ	1前		2							兼1
地域志向						かごしま教養プログラム (未開業)	1前		2							兼2
ボランティア活動 1後 2 2前後 3 間 教養特講 I (未開課) 1前 2 数養特講 I (未開課) 1後 2 0 数養特講 I (未開課) 1 1前 2 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数			†4h	域志向		かごしまフィールドスクール	1前		2							兼2
では、			-5	%/나니니		ボランティア活動	1後		2							兼1
接数特請 (未開酵) 1後 2 1前 2 2 2 2 2 2 2 2 2					人	海外インターンシップ	2前後		3							兼2
数義特講Ⅲ					間	教養特講 I (未開講)	1前		2							
ら数養特講皿 1前 2 小計 (11科目) - 0 23 0<					暮	教養特講Ⅱ (未開講)	1後		2							
Than (114日)					b	教養特講Ⅲ	1前	L	2			L				兼2
本語オーラル・コミュニケーションII 1後 1 大語海外研修 (未開講)		L	L		L	小計 (11科目)	_	0	23	0	0	0	0	0	0	兼13
本語オーラル・コミュニケーションII 1後 1 大語海外研修 (未開講)		ш 1				英語オーラル・コミュニケーションI	1前	1								兼6
ショ 英 人間 ン語 大語リーディング スキ 1mm 本語ライティング 1mm後		=				英語オーラル・コミュニケーションⅡ	1後	1								兼6
x 次		ĺ	L	コア	١.	英語海外研修 (未開講)	1前		2							兼1
		í.				英語リーディング	1前		1							兼 3
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 		ス	ш		1	英語ライティング	1前後		1							兼4
		ル		即沛		英文読解の技法	1前		2							兼1
ズ 対 TOEIC・TOEFL対策 1後 2				河迷		TOEIC·TOEFL対策	1後		2							兼1

ı				主		配	Ĺ	单位	数	専	任教	員等	の配	置	兼 任				主		I	į	単位	数	専	任教	員等	の面	置	兼
	科	目区	区分	要概	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助		科目	国区	分	要概	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教		講	助	助	任
				念		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担				念		+ %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
					コミュニケーションのための英文法	1前		2							兼1					コミュニケーションのための英文法	1前		2							兼1
	_	英語	関連		Global Economy and Business	1後		2							兼9		英語			Global Economy and Business	1後		2							兼7
	3	āΠ			小計 (9科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	兼16	Ξ		1		小計 (9科目)	_	2	12	0	0	0	0	0	0	兼17
	<u> </u>				基礎中国語 I	1前		1							兼1			中国		基礎中国語 I	1前		1							兼1
	ケ		中国語		基礎中国語Ⅱ	1後		1							兼1	ケ		語		基礎中国語Ⅱ	1後		1							兼1
	ーシ		フランス	1	基礎フランス語 I	1前		1							兼1	リシ		フラ		基礎フランス語 I	1前		1							兼1
	á	第	語	人間	基礎フランス語Ⅱ	1後		1							兼1	Í		シス語	人間	基礎フランス語Ⅱ	1後		1							兼1
	ンス	=		[8]	基礎ドイツ語I	1前		1							兼1	ンス		ドイ	[B]	基礎ドイツ語 I	1前		1							兼1
看	7	外国	ドイツ語		基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1							兼1 看			ツ語		基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1							兼1
護	ルズ	語		1	基礎韓国語 I	1前		1							兼2 護	リル	87			基礎韓国語 I	1前		1							兼2
学	科				基礎韓国語Ⅱ	1後		1							並 。	±:L		韓国		基礎韓国語Ⅱ	1後		1							兼1
科共	目		韓国語		韓国語海外研修	1前		2							兼1 科			語		韓国語海外研修(未開講)	1前		2							
通					小計 (9科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	兼6					小計 (9科目)	-	0	_	0	0	0	0	0	0	兼4
教		l	ı		日常生活に生かすスポーツ科学	1前後	Ť	2	Ů	Ť	Ť	Ť	Ť	Ť	並 1		t	1		日常生活に生かすスポーツ科学	1前後	Ť	2	Ť	Ť	Ť	Ť	Ů	Ť	兼1
育科	スポ		講義		現代社会とスポーツ	1前後	2	-							兼1 育			講義		現代社会とスポーツ	1前後	2	-							兼1
目	ポー	H		1	スポーツ実習 I (屋内集団球技)	1前後	É	1							兼2		┢			スポーツ実習I(屋内集団球技)	1前	É	1		t	1				兼2
	ッ			健	スポーツ実習Ⅱ(屋内個人球技)	1前後	l	1							兼3	ッ	1		健	スポーツ実習Ⅱ(屋内個人球技)	1前後		1	1	ĺ					兼2
	/2:b			康	スポーツ実習Ⅲ(個人種目)	1前後	l	1							兼2	Ize			康	スポーツ実習皿(個人種目)	1前後		1	1	ĺ					兼3
	健康		実習		スポーツ実習Ⅳ(屋外個人球技)	1前		1							兼1	健康		実習		スポーツ実習以(屋外個人球技)(余日章)	1前		1							ARU
	科				スポーツ実習 V (屋外集団球技)	1前後		1							兼2	科	.			スポーツ実習V(屋外集団球技)	1前後		1							#2
	目				小計 (7科目)	_	2	7	0	0	0	0	0	0	兼3	目				小計 (7科目)	_	2	7	0	0	0	0	0	0	兼3
				. L	いのちをはぐくむ地球	1前	1	ŕ	Ů	Ů	Ť	Ť	Ť	Ť	兼1	+	╁		1.3	いのナナはクノか時時	1前	1	ŕ	Ť	Ť	Ť		Ů	Ť	兼1
				5 o	・ 地球で生きるいのち	1後									兼1				ちの		1後	1								兼1
					教育方法学	1前	l .	2							兼1					教育方法学	1前	ľ	2							兼1
					文化人類学	1前		2							兼1					文化人類学	1前		2							兼1
				人	社会心理学	1後		2							兼1					社会心理学	1前		2							兼1
				間	日本史特論	1後		2							兼1				間	日本史特論	1後		2							兼1
					鹿児島の歴史	1前		2							兼1					鹿児島の歴史	1前		2							兼1
					生涯発達論	2後	2	_							兼1					生涯発達論	2後	2	-							#2
					地域社会論	1前	-	2							兼1					地域社会論	1前	_	2							兼1
					まちづくり概論	1前		2							兼1					まちづくり概論	1前		2							兼1
					地域経済論	1後		2							兼1				۱	地域経済論	1後		2							兼1
				暮ら	環境経済論I	1前		2							兼1				暮ら	環境経済論I	1前		2							兼1
				L	環境経済論Ⅱ	1後		2							兼1				l	環境経済論Ⅱ	1後		2							兼1
					医療情報活用論	2後	1								兼1					医療情報活用論	2後	1								兼1
	専				暮らしをまもる制度	2後									兼1	専				暮らしをまもる制度	2後	1								兼1
#	門基		5. o# +# ±0		からだの仕組みと働きI	1前										門基		£ =# +#		からだの仕組みと働きI	1前	1								兼1
看護	碰	1	●護構想 科目		からだの仕組みと働きⅡ	1後									兼1 看 兼1 題			き護構 思科目		からだの仕組みと働きⅡ	1後	1								兼1
学	科				代謝と栄養	1後									兼2 学	! 科				代謝と栄養	1後	1								兼2
科専	目			1	からだの異常と発生メカニズム	1後									兼1 考		l			からだの異常と発生メカニズム	1後	1		1	ĺ					兼1
門				1	感染と防御	1後	ľ								兼1		l			感染と防御	1後	1		1	ĺ					兼1
教				1	からだの異常の診断技術	1後									新 2		l			からだの異常の診断技術	1後	1		1	ĺ					兼2
育科				1	薬理学	2前									兼1 章		l			薬理学	2前	1		1	ĺ					兼3
目				1	乗塩子 働く人の健康	1後	Ι.								兼1		l			働く人の健康	1後	1		1	ĺ					兼 1
				健	健康障害とその治療I	2前									兼4		l		健	健康障害とその治療I	2前	1		1	ĺ					兼4
				康	健康障害とその治療Ⅱ	2前									兼6		l		康	健康障害とその治療Ⅱ	2前	1		1	ĺ					兼6
				1	健康障害とその治療皿	2削 2前									兼2	1				健康障害とその治療皿	2前	1			1					兼2
				1	健康障害とその治療Ⅳ	2制	1								兼2		l			健康障害とその治療IV	2例	1		1	ĺ					兼2
				1	保健統計学										兼1		l			保健統計学	2版 2前	1		1	ĺ					兼1
				1	夜学	2前 2前	2								兼1		l				2前	2		1	ĺ					兼1
					健康をまもる法律		1													健康をまもる法律		1								
				1	保健医療福祉行政論	2前 2前	2			1	1				兼1		l			保健医療福祉行政論	2前 2前	2		1	1	1				兼1
				1	小計 (31科目)	2 Fij	24	20	0	1	1	0	0	0	兼40		l			小計 (31科目)	Z [FI]	24	20	0	·	1	0	0	0	兼43
	-	1	Г	いのち	いのちと看護	1後		20	٦	3	1	1	1	2		\vdash	1	Г	いのた	いのちと看護	1後	1	20	0	3	1	1	1	2	mt 10
	١.		看	 	人間と看護	2前	1			1	l '	1	3	2		1		看	_	人間と看護	2前	1			1	'	1	3	2	
	専門		護導	_	暮らしと看護	2制	1			1	3	l '	4	_		専門		護	基らし	不同と有設 暮らしと看護	2例	1	ĺ		1	3		4	۷	
	科		· 译	健康	健康と看護	2後				1	3		2	1		科		得 入	健康	t	2後	1		1	1	3		2	1	
	Ħ		科	-	産尿こ有設 看護への招待	2仮 1前				7	٥			l		目		科	_	産原と有設 看護への招待	2後	1		1	6	1		4	-	
			目	THI RE	小計 (5科目)	-	5	0	0	8	6	2	7	4	0		l	目	相談	小計 (5科目)	- HIJ	5	0	0	-	6	2	7	4	0
1	l	_	∟	1	- HI V 917 H /		J	U	U	U	U			_ +	V	1	L	L	L	- at (VITH/		J	U	U		U	۷.	,	4	v

特別					主		陌	ì	単位数	女	専	任教	員等	の配	,置	兼
大きな		科	B D	☑分	要概	授業科目の名称		必	選	自	_	准				任・兼
報酬					念		次	修	択	由	授		師	教	手	担
報理 会理 の							1後	1			1	1				兼1
程道 (1			1	1		4	2	
程度受益 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)																兼1
報道文件目																
# 2 - 1						能										
## 15						支える機能					2					
						る機能					,				'	
### 2015																
			_	7 17 0		支える機能 生活機能援助論Ⅷ:子どもを産み育て		-			-	3		_		
							2後	1			2		3	4	2	
# 1						補助	2後	1			1	3	2	4	1	
# 日接						開						3	4	7	2	
# 日本																兼1
福田県							2前	_	_	_	_		_	-	_	** 0
# 日本			_		-		1 44	_	0	0	8		4	8	4	兼3
程度の						SEM-BAL BENDER - 1. G WING					2	3	1			
												1	'			
報題・選出版 で											' .					
程数型域のアカルド 1 対象の表達的能に						健康増進ケア論Ⅰ:地域保健看護活動		١.			1	'			1	
電視 で						健康増進ケア論Ⅱ:対象の発達段階に		-								
Rut Park Park				有護			2後					2				
# 2							2後	1			1	2			1	
							2後	1				2			1	
特別	丢										1					
日本 専門 刊名	_					小計(9科目)	_	11	0	0	4	5	1	0	1	0
事 門 刊 刊 日 日		*			1	健康回復看護総論	2前	1				2				兼1
特別					看	健康回復過程論 I:急性-回復期・治療過程における看護	2前	1			1	2		3	2	
報酬の報酬	門	科											4			
日	•••	目				期の看護 健康回復過程論Ⅲ:人生の最期のと		'			2		'			
						き・外来通院期の看護	2後	1			1	2		3	2	
精神・在宅健康回復ケア論は 2前 1 2 1 1 2 2 1 1 2 2	目					成育健康回復ケア概論	2前	1			2		1			
成育健康回復ケア論						成人老年健康回復ケア概論	2前	1			2					
東京議議							2前	1			2					
能力育成科目目 を主催機回復ケア論 2後 1						成育健康回復ケア論I	2前	1			2		1	1		
世帯では、							2後	1			2		1	1	2	
特神健康回復ケア論 2後 1			カ									2				
在宅健康回復ケア論 2後 1 1 1 1 1 2 3			成	省政									1			
世代 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日																
成育健康回復ケア論実習 3 前線 3 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1			_												3	
成育健康回復ケア論実習 3mix 3 2 1 2 1 1 1 2 3 mix 3 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												'			,	
成人健康回復ケア論実習 3mix 3 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							3削後	3						- 1		
表 日 世							285146	2					4	1		
精神健康回復ケア論実習 3mia 3 1 1 1 2 2 3 1 1 1 2 2 3 3 1 1 1 1 2 2 3 3 1 1 1 1											2	2	1			
本意理集回復ケア論楽習 3mm 3 3 1 1 1 2 2 3 1 1 1 2 3 3 1 3 3 3 1 1 1 1						成人健康回復ケア論実習	3前後	3			2	2		1		
小計 (20科目)						成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習	3前後 3前後	3			2 1 1			1		
						成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習	3前後 3前後 3前後	3 3 3			2 1 1	1		1 1 2		
長期後乗生活ケア論 名前 1 1 2 3 3						成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習	3前後 3前後 3前後 3前後	3 3 3	0	0	2 1 1 1	1	1	1 1 2 2	1	兼1
表別機乗生活ケア論実習 4前 2 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 2 3 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1						成人健康回復ケア論美習 老年健康回復ケア論美習 精神健康回復ケア論美習 在宅健康回復ケア論美習 小計 (20科目)	3前後 3前後 3前後 3前後	3 3 3 3	0	0	2 1 1 1	1 1 4	1	1 1 2 2	1	兼1
株式				期療		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期僚養生活者護総論	3前後 3前後 3前後 - 3後	3 3 3 3 32	0	0	2 1 1 1	1 1 4 1	1	1 1 2 2 8	1	兼1
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				期療養生活		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期像長生活者護総論 長期像長生活ケア論	3前後 3前後 3前後 3前後 一 3後 4前	3 3 3 32 1 1	0	0	2 1 1 1 1 7	1 1 4 1 2	1	1 1 2 2 8	1	兼1
日 日 一 表 本 本 本 本 本 本 本 本 本				期療養生活看		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活者護総論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論実習	3前後 3前後 3前後 一 3後 4前 4前	3 3 3 32 1 1 2			2 1 1 1 7	1 1 4 1 2	1 4	1 1 2 2 8	1	兼1
展 展 東 地域包括チームケア論 3後 1 1 3 1 3 1 3				期 療養生活看護		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活者護総論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 末期	3前後 3前後 3前後 一 3後 4前 4前 一	3 3 3 32 1 1 2			2 1 1 1 7	1 1 4 1 2 1	1 4	1 1 2 2 8	1 4 0	
数字支援論 3後 1				統合科		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活有理総論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 末期養養生活ケア論 開養養生活ケア論業署	3前後 3前後 3前後 - 3後 4前 4前 - 4前	3 3 3 32 1 1 2 4			2 1 1 1 7 7	1 1 4 1 2 1	1 4	1 1 2 2 8	1 4 0	
大き文技機師 3後 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 3 5 1 3 3 5 1 3 3 5 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 3				統合科目発		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活年理総論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論	3前後 3前後 3前後 一 3後 4前 4前 4前	3 3 3 32 1 1 2 4 2			2 1 1 1 7 7 1 1 1	1 1 4 1 2 1 2	1 2 2	1 1 2 2 8	1 4 0	
計画 小AT (5科目)				# 株 合科目 発展 (単部) (単部) (単部) (単部) (単語) (単語) (単語) (単語) (単語) (単語) (単語) (単語		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 七宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活有護総論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 無理衛進ケア論発展実習 看護衛石漢習	3前後 3前後 3前後 - 3後 4前 4前 4前 4前 4後	3 3 3 32 1 1 2 4 2 1			2 1 1 1 7 7 1 1 1 1 8	1 1 2 1 2 2	1 2 2	1 1 2 2 8 3 3 5	1 4 0	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本				期應養生活看護 統合科目 学部横断		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期後乗生活有援総論 長期後乗生活ケア論美習 小計 (3科目) 健康增進ケア論発展実習 看護 統 合 演 習 地域包括チームケア論 災害支援論	3前後 3前後 3前後 4前前 4前 4後 3後	3 3 3 32 1 1 2 4 2 1 1 1 1		0	2 1 1 1 7 1 1 1 1 8 1 2	1 1 2 1 2 2 2 3 3	1 2 2 1 1	1 1 2 2 8 3 3 5	1 4 0	0
科目区分 複 授業科目の名称				期		成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期後乗生活有援総論 長期後乗生活ケア論美習 小計 (3科目) 健康增進ケア論発展実習 看護 統 合 演 習 地域包括チームケア論 災害支援論	3前後 3前後 3前後 - 3後 4前 4前 4後 3後 3後	3 3 3 32 1 1 2 4 2 1 1 1 1 1 6	0	0	2 1 1 1 7 7 1 1 1 1 8 1 2 8	1 1 2 1 2 2 2 1 3 3 6	1 2 2 1 1 1 3	1 1 2 2 8 3 3 5	1 0 1 1	① 兼2 兼2
************************************						成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期療業生活有援総論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 養期後 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理	3前後 3前後 3前後 4前前 4 後後 3後 2 配	3 3 3 32 1 1 2 4 2 1 1 1 1 1 6	0 0 单位数	O 0	2 1 1 1 7 7 1 1 1 8 1 2 8	1 1 4 1 2 1 2 2 1 3 3 6 任教	1 4 2 2 1 1 1 3 員等	1 1 2 2 8 3 3 5	1 0 1 1 置	0
で		科	目区		要概	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期療業生活有援総論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 養期後 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理	3前後 一 3後 1 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 3 3 32 1 1 2 4 2 1 1 1 1 1 6	0 0 单位数	O 0	2 1 1 1 7 7 1 1 1 8 1 2 8	1 1 2 1 2 2 1 3 3 6 任教	1 4 2 2 1 1 1 3 員等	1 1 2 2 8 3 3 5	1 0 1 1 置	① 兼2 兼2
事 有		科	目区		要概	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期療業生活有援総論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 養期後 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理 衛援等理	3前後 一 3後 1 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 1 1 6	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 1 7 1 1 1 8 1 2 8 專	1 1 4 1 2 1 2 2 1 3 3 6 4 准教	1 2 2 1 1 1 3 等	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の配	1 4 0 1 1 置 助	0 兼2 兼2
科 等 護 字 護 字 護 字 門 門 探 探究 名 看 護 卒業研究 I 4前 1 8 6 3 名 6 3 名 7 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 日 7 2 2 2 2		— 科I	目区		要概	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療業生活有援総論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論 養期後事業活ケア論 養素を養養 一計 (3科目) 健康増進ケア論美麗 看養護 報合 演習 地域包括チームケア論 災害支援 小計 (5科目) 授業科目の名称	新 新 新 一 後 前 前 一 前 前 後 後 後 一 配当年次	3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 必 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修 修	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 1 1 1 1 1 8 1 2 8 9 W W E B <	1 1 4 1 2 1 3 6 6 教	1 2 2 1 1 1 3 員講師	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の助 数	1 4 0 1 1 置助 手	① 兼2 兼2 兼任・兼
科 究 探究 数 目 科 育 目 目 目 目 目 目 目 目 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	護学		看		要概	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 中、 (20科目) 長期療業生活有理総論 長期療業生活ケア論 長期療業生活ケア論美習 小計 (3科目) 健康增温ケア論與異習 看護 一 演 習 地域包括チームケア論 災害支援 加計 (5科目) 授業科目の名称	3前後 3前後 3前後 - 3後 前前 - 4前 前 後 後 後 - 配当年次 1後	3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 些 修	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 1 7 7 1 1 1 8 1 2 8 專 授 1	1 1 4 1 2 1 3 6 6 教	1 2 2 1 1 1 3 員講師 2	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の助 数	1 4 0 1 1 置助 手	① 兼2 兼2 兼任 ・兼
育 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	護学科専	専	看護	統合科目	要概念	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活有理総論 長期療養生活ケア論実習 小計 (3科目) 健康增進ケア論與無実習 看護 (3科目) 健康增進 (2科目) 少域 (2科目) 少素 支援論 小計 (5科目) 授業科目の名称	3前後 3前後 3前後 - 3 3 4 前前 4 前 4 後 後 後 3 2 一 配当年次 1 後 後	3 3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 8 8	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 1 7 7 1 1 1 8 1 2 8 専 教 授 1 1	1 1 4 1 2 1 2 2 1 3 3 6	1 2 2 1 1 1 3 員講 師 2 2	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の助 数	1 4 0 1 1 置助 手	① 兼2 兼2 兼任 ・兼
1	護学科専門	専門科	看護探究	統合科目	要概念	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計 (20科目) 長期療養生活有理総論 長期療養生活ケア論実習 小計 (3科目) 健康增進ケア論與無実習 看護 (3科目) 健康增進 (7論発展実習 看護 (3科目) 地域包括チームケア論 災害支援論 小計 (5科目) 授業科目の名称	3 前後 3 前後 4 前	3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 修	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 7 1 1 1 1 8 1 2 8 零 数 授 1 1 8	1 1 4 1 2 1 2 2 1 3 3 6 秩 准教授 4 6	1 2 2 1 1 1 3 3 等 師	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の助 数	1 4 0 1 1 置助 手	① 兼2 兼2 兼任・兼
	護学科専門 教育	専門科	看護探究科	統合科目	要概念	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期療業生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期 養期 養期 養期 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別	3	3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 修	0 0 単位数	0 0 数	2 1 1 7 1 1 1 1 8 1 2 8 專 数 授 1 1 8 8 8 8	1 1 4 1 2 1 2 2 1 3 3 6 秩 准教授 4 6	1 2 2 1 1 1 3 3 等 師	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の助 数	1 4 0 1 1 置助 手	① 兼2 兼2 兼任・兼
	一護学科専門 教育科	専門科	看護探究科	統合科目	要概念	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 在宅健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期療棄生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 長期療養生活ケア論 養期療養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期養養生活ケア論 養期 養期 養期 養期 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別 養別	3	3 3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 修 1 1 1 1	0 0 0 数 択	0 0 自 由	2 1 1 1 1 1 1 8 9 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 3	1 1 2 1 2 2 1 3 3 6 数 4 6 6	1 2 2 1 1 1 3 () () () () () () () () () () () () ()	1 1 2 8 3 3 5 5 の助 教	1 4 0 1 置 助 手	① 兼2 兼2 兼任・兼
卒業要件及び履修方法	護学科専門 教育科	専門科	看護探究科	親康業生活看護 羌展 学都横斯科目 分 探察	要概念	成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習 精神健康回復ケア論実習 有神健康回復ケア論実習 小計(20科目) 長期康美生活セア論 長期康美生活ケア論 長期康美生活ケア論 長期康美生活ケア論 受害支援 一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	3	3 3 3 3 3 1 1 2 4 2 1 1 1 1 6 修 1 1 1 1 1 5	0 0 位選 択	0 0 数 自 由	2 1 1 1 1 1 2 8 9 4 8 9 8 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 8 9 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 <	1 1 2 1 2 2 1 3 3 6 日本教授 4 6 6 6	1 4 2 2 1 1 1 3 3 等 師 2 2 3 3 4	1 1 2 2 8 3 3 5 5 の配助 教 7	1 4 0 1 1 置 助 手 2	① 兼2 兼2 兼任·兼担

「共通教育科目」で必修10単位、選択8単位以上、「専門基礎科目」で必修24単位、選択必修8単位	以上,「専門
科目」で必修79単位以上を修得し,合計129単位以上を修得すること。	
履修科目の巻録 ト 限け48単位 (年間) とする.	

					主			Ĕ	単位	数	専作	任教	員等	の酉	置	兼任
:	科目	区分	分		要概。	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					念	看護学概論	1後	修 1	択	由	授	授 1	師	教	手	兼1
						援助関係論	1後	1			1	1		4	2	лčI
						看護倫理	2後	1			1	ľ		ľ	-	兼1
						生活機能援助論 I:安全をまもる機能	1前	1			1	2	3	3	2	2114
						生活機能援助論Ⅱ:生きるを支える機能	1前	1			1	2	3	3	2	
						生活機能援助論Ⅲ:食物・水分摂取を支え る機能	1後	1			2	1	2	4	2	
						生活機能援助論Ⅳ:排便・排尿を支える機 能	1後	1				1	4	5	1	
			護			生活機能援助論♥:動くを支える機能	2前	1			2	2	2	5		
			コ 4 E			生活機能援助論VI:休むと情報交換を支え る機能	2前	1			1	3	2	5		
						生活機能援助論Ⅶ:子どもを産み育てることを支える機能	2後	1			2		3	4	2	
						生活機能援助論理:救命救急・診療の補助	2後	1			1	3	2	4	1	
						生活機能援助論区:在宅展開・事例展開	2後	1			2	4	4	7	2	
						家族看護論	2後	1			1					兼
						看護展開基礎論	2前	1			7	2	2	3		
						看護展開基礎実習	2前	2			5	3	4	6	3	
						小計 (15科目)	-	16	0	0	7	5	4	8	4	兼3
						健康増進看護総論Ⅰ:地域保健	1後	1				3				
						健康増進看護総論Ⅱ:成育保健	1後	1			2		1			
						健康增進看護総論Ⅲ:成人老年保健	1後	1			1	1				
						健康増進看護総論IV:精神保健 健康増進ケア論 I:地域保健看護活動の基	1後	1				1				
				康		礎 健康増進ケア論Ⅱ:対象の発達段階に応じ	2前	1			1				1	
				進護		た地域看護活動	2後	1				2			1	
						健康増進ケア論Ⅲ:健康課題の特性に応じ た地域看護活動	2後	1			1	2			1	
						健康増進ケア論Ⅳ:学校・産業保健活動	2後	1				2			1	
-						健康増進ケア論実習	3前後	3			1	2			1	
看護						小計 (9科目)	-	11	0	0	4	5	1	0	1	0
学						健康回復看護総論	2前	1	Ť	Ť	Ė	2	Ė	Ť	Ė	兼
科専	専門				看	健康回復過程論 I:急性-回復期・治療過程における看護	2前	1			1	2		3	2	×11.5
門	科				護	健康回復過程論Ⅱ:リハビリ期・慢性期の										
教	目					程康回復過程論Ⅲ:リハヒリ州・後日州の 看護 健康回復過程論Ⅲ:人生の最期のとき・外	2前	1			2	1	1	3	1	
育科						来通院期の看護	2後	1				3		3	2	
目						成育健康回復ケア概論	2前	1			2		1			
						成人老年健康回復ケア概論	2前	1			2		1			兼1
		看				精神・在宅健康回復ケア概論	2前	1			2					
		語				成育健康回復ケア論I	2前	1			2		1	1		
		実践前				成育健康回復ケア論Ⅱ	2後	1			2		1	1	2	
		J.		康		成人健康回復ケア論	2後	1			1	2		4	1	
		育月		護		老年健康回復ケア論	2後	1			1		1	5	1	兼1
		科目				精神健康回復ケア論	2後	1			1	1		4	2	
						在宅健康回復ケア論	2後	1			1	1	1	2	3	
						健康回復看護総論実習	2前	1			6	2	2	2		
						成育健康回復ケア論実習Ⅰ	3前後	3			2		1	1	2	
						成育健康回復ケア論実習Ⅱ	3前後	3			2	۰	1	1	2	
						成人健康回復ケア論実習 老年健康回復ケア論実習	3前後 3前後	3			1	2	1	1	1	
						老年健康回復ケア論美官 精神健康回復ケア論実習	3前後	3			1	1	'	2	'	
						在宅健康回復ケア論実習	3前後	3			1	1		2		
						小計 (20科目)	- 07 150	32	0	0	6	4	4	8	4	兼2
			T	長期		長期療養生活看護総論	3後	1	Ť	Ť	ř	1	Ť	Ť	Ť	AK 4
				期療養		長期療養生活ケア論	4前	1				2		3		
				養生活		長期療養生活ケア論実習	4前	2			1	1	2	3		
			£#5	看護		小計 (3科目)	-	4	0	0	1	2	2	5	0	0
			統合			健康増進ケア論発展実習	4前	2			1	2			1	
			科			看護管理論	4前	1			1					
				発		看護統合演習	4後	1			7	1	1			
			J.	民学 部		地域包括チームケア論	3後	1			1	3	1	3		
				横断科		災害支援論	3後	1			2	3	1	2		兼2
						小計 (5科目)		6	0	0	7	6	3	5	1	兼2 *
				目			配当		単位 3		_	_	員等	_	_	兼任
	***			目	主要	100 alle 71		必	選	自	教	准	講	助	助	兼
:	科目	区分	分	B	要概	授業科目の名称	年 次					教				
;	科目	区分	分	B	要		年次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
*	科目	区分	分	B	要概	授業科目の名称	1後	修 1	択	由	授		師 2	教	手 2	担
*	寅	看	分	В	要概				択	由		授				担
看護学科專	寅	看		目	要概念	暮らし探索フィールドワーク	1後	1	択	由	1	授	2			担
看護学科專門 教	専門科	看護探究科		究	要概念	春らし探索フィールドワーク 看護研究	1後 2後 4前	1 1 1	択	由	1 1 7	授 4	2			担
看護学科專門 教育科	寅	看		目	要概念	春らし塚索フィールドワーク 看護研究 卒業研究 I	1後 2後	1	択	由	1	授 4 6	2 2 3			担
看護学科專門 教育	専門科	看護探究科		目	要概念	事らし塚索フィールドワーク 看護研究 卒業研究 I 卒業研究 I	1後 2後 4前 4後	1 1 1 1	択 0	由 0	1 1 7 7	授 4 6	2 2 3			担
看護学科專門 教育科	専門科	看護探究科		究	要概念	番らし探索フィールドワーク 看護研究 卒業研究 I 卒業研究 I 看護キャリア発達論 小計 (5科目)	1後 2後 4前 4後	1 1 1 1 1			1 1 7 7 3	授 4 6 6	2 2 3 3	7	2	

「共通教育科目」で必修10単位、選択8単位以上、「専門基礎科目」で必修24単位、選択必修8単位以上、「専門科目」で必修79単位以上を修得し、合計29単位以上を修得すること。 履修科目の登録上限は48単位(年間)とする。

【令和5年度】

_			- 度』	主要		配当	È	单位数	汝	専			の配		兼任
	科	目区	☑分	概念	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
		新入	人生ゼミナール		新入生ゼミナール	1前	2	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	I	4	4	3	4	2	
			理・デー	暮ら	データサイエンス・AI入門	1前		2							兼1
		タ	サイエン ス・AI	L	情報処理 確率と統計	1前 1前	2	2							兼1 兼1
	**				コミュニケーションカ育成	1前後		2							兼1
	基礎			١.	キャリア形成のための一般教養 I	1前		2							兼1
	科目			人間	キャリア形成のための一般教養Ⅱ	1後		2							兼1
	п	+	・ャリア ・ザイン		キャリア形成のための一般教養Ⅲ	3前		2							兼1
		7	サイン		キャリア形成のための一般教養Ⅳ	3後		2							兼1
				暮ら	論理的思考と数的処理 キャリア形成のための文章力育成	2後 3前		2							兼1 兼1
				Ĺ	小計 (11科目)	-	4	18	0	4	4	3	4	2	# 5
					日本文学	1後		2							兼1
					外国文学	1前		2							兼1
					音楽文化論	1後		2							兼6
					日本史 西洋史	1前後		2							兼1 兼1
		J	文科学	人	東洋史	1前後		2							兼1
				間	東西文化の交流	1前		2							兼1
					哲学	1前後		2							兼1
					倫理学	1前後		2							兼1
					心理学 小計 (10科目)	1前後	0	20	0	0	0	0	0	0	兼4 兼18
看		\vdash		_	小計 (10科目) 法学	- 1前	U	20	U	U	U	U	U	U	乗18 兼1
護					日本国憲法	1前後	2	1							兼1
学科				暮	政治学	1前		2							兼1
共		7	社会科学	b	経済学	1前後		2							兼3
通教	人間			L	社会学	1後		2							兼1
育科	教				地理学 小計(6科目)	1前	2	10	0	0	0	0	0	0	兼1 兼8
目	養科			,暮	*** *** =	1前		2	0	-	0	0	-	0	兼1
	目			しら	数学Ⅱ	1後		2							兼1
		E		い	生命科学	1前後		2							兼1
				いのち	環境科学	1前後		2							兼2
					小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	兼3
				暮ら	地域創生 I 地域創生 II	1前 1後		2							兼1 兼1
				, M	Japanology	1後		2							兼5
					地域から世界へ	1前		2							兼1
				暮ら	かごしま教養プログラム	1前		2							兼2
		ż	地域志向	Ĺ	かごしまフィールドスクール	1前		2							兼2
				-	ボランティア活動 海外インターンシップ	1後		3							兼1
				人間	教養特講 I (未開講)	1前		2							乗3 兼1
				暮	教養特講Ⅱ	1後		2							兼1
				b	教養特講Ⅲ (未開講)	1前		2							兼1
				L	小計 (11科目)	_	0	23	0	0	0	0	0	0	兼15
	<i>m</i> d II				英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I	1前	1								兼5 ===
	ケー		コア		英語海外研修(未開講)	1後 1前	1	2							兼5 兼1
	ショ	英語		人間	英語リーディング	1 m		1							·兼3
	ンスキ	苗		[8]	英語ライティング	1前後		1							兼4
	キルズ		関連		英文読解の技法	1前		2							兼1
	科			Ļ	TOEIC・TOEFL対策	1後		2		yek-	IT "	9 M		-	兼1 **
	£:1 1	目区	公	主要	授業科目の名称	配当	必	単位数 選	自	専教	任教准	員等	の配助	逝助	任
	17	<u> Б</u>	÷ /J	概念	18末行日の右称	年次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		П			コミュニケーションのための英文法	1前	P95	2	н	ıχ	ıχ	ρų	拟	T	兼1
	_	英語	関連		Global Economy and Business	1後	L	2		L			L		兼7
	т п	-112			小計 (9科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	兼17
	ニケ		中国語		基礎中国語Ⅰ	1前		1							兼1
	1				基礎中国語 Ⅱ 基礎フランス語 I	1後 1前		1							兼1 兼1
	ショ	第	フランス 語	人	基礎フランス語Ⅰ	1削		1							兼1
	ンス	=	L > >	間	基礎ドイツ語 I	1前		1							兼1
看	ハキル	外国	ドイツ語		基礎ドイツ語Ⅱ	1後		1							兼1
護	ズ	語			基礎韓国語I	1前		1							兼2
学	科目		韓国語		基礎韓国語Ⅱ	1後		1							兼2
科	ì				韓国語海外研修(未開講) 小計(9科目)	1前	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
		. 1			小計 (9代4日) 日常生活に生かすスポーツ科学	1前後	v	2	U	U	U	U	U	U	乗 5 兼1
科共通教		Γ.			現代社会とスポーツ	1前後	2	١							兼1
科共通	スポ		講義		現れ社会とスポーク				_				_		_
科共通教育	ポー		講義		現れ社会とスポーツ スポーツ実習 I(屋内集団球技)	1前		1							兼2
科共通教育科	ポ		講義	健	スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習 I (屋内個人球技)	1前後		1							兼2 兼2
科共通教育科	ポーツ・健		講義 実習	健康	スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習 I (屋内個人球技) スポーツ実習 II (個人種目)	1前後 1前後		1							
科共通教育科	ポーツ・				スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習 I (屋内個人球技) スポーツ実習 II (個人種目)	1前後		1							兼2

看護学科専門教育科目	専門基礎科目	看	育護科目	看	ち 人間 著らし 俊勇 い	の	いのちをはないのちとはないのちとはないのちとはないのちとはないのちとはないのちとはないのちとはないのちとはないです方人の生物を発生をはいる。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 24	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	1 1 3	1 1	0	0	0 2	兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼
	門科目			導入科目	群 健 看	康護	暮らしと看護 健康と看護 看護への招待	2後 2後 1前	1 1 1			1 1 6	3 3 1		2	1	
					Ė	_	小計 (5科目)	_	5	0	0	8 亩	6 红数	2	7 	4	0 兼
	科	目区	7 🛆		里			配	1 5	单位多					の配	直助	任
			2 /]		相相		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准粉	講	助	EV)	
		1	271			ŧ		年次	修	選択	自由	授	教 授	師	教	手	兼担
			2 / J		椇	£	看護学概論	年次 1後	修 1			授 1	教 授 1		教	手	担
			2/J		椇	t :		年次	修			授	教 授				兼
					椇	ž į	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I:安全をまもる機能	年次 1後 1後 2後 前	修 1 1			1 1	教 授 1		教	手	兼
			<u> </u>		椇	£	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1:安全をまもる機能 生活機能援助論 1:安全をまもる機能	年次 1後 2後 前 前	修 1 1 1 1			授 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2	師 3 3	4	全 2 2 2	兼
			2/1		椇	£ 8	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 性活機能援助論 II: 生きるを支える機能 度 支える機能 生活機能援助論 II: 食物・水分摂取を 支える機能	年次 1後 2後前前 1後	修 1 1 1 1 1			授 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1	新 3	教 4 3 3 4	手 2 2	兼
		君			椇	£ &	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論!:安全をまもる機能 生活機能援助論』: 生きるを支える機 能生活機能援助論』: 食物・水分摂取を まるる機能	年次 1後 2後 前 前	修 1 1 1 1			授 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2	師 3 3 2	教 4 3	全 2 2 2 2	兼
			護実		椇		看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I:安全をまもる機能 生活機能援助論 I:安全を支える機能 生活機提助論 II:安全を支える機能 生活機提斯論 II:持便・排尿を支え る機能 生活機能援助論 V: 排便・排尿を支え る機能 生活機能援助論 V: 期くを支える機能 生活機能援助論 V: 財くを支える機能	年次 1後 後後前 前 後後	修 1 1 1 1 1 1			授 1 1 1 1 1 2	教授 1 1 2 2 1 1	師 3 3 2 4	数 4 3 3 4 5	全 2 2 2 2	兼
			清護実		椇		看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 生きるを支える機 能生活機能援助論 11: 生きるを支える機 生活機能援助論 17: 排便・排尿を支え 生活機能援助論 17: 財 15: 大き支える機能 生活機能援助論 17: 休むと情報交換を 生活機能援助論 17: 休むと情報交換を 生活機能援助論 17: 休むと青報交換を 生活機能援助論 17: 子もき産み育て ることを支える機能	年次 1後後後前前後後前 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	修 1 1 1 1 1 1 1			担 1 1 1 1 1 2	教授 1 1 2 2 1 1 2	新 3 3 2 4 2	教 4 3 3 4 5	全 2 2 2 2	兼
			清護実		椇	The last section of the section of t	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 11: 生きるを支える機能 生活機能援助論 11: 生きるを支える機能 生活機能援助論 17: 排便・排原を支え 生活機能援助論 17: 休むと情報交換を 生活機能援助論 17: 休むと情報交換を 生活機能援助論 17: 水むと成る 64能的 加速 20: 40 と 18: 40 と 1	年次 1後後後前前 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			授 1 1 1 1 1 2 2 1 2	教授 1 1 2 2 1 1 2 3	3 3 2 4 2 2 3 2	4 3 3 4 5 5 5 4 4	2 2 2 2 1	兼
			清護実		椇	The second of th	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I:安全をまもる機能 生活機能援助論 I:安全をまもる機能 生活機能援助論 II:安全を支える機 生活機能援助論 II:接便・排尿を支え る機能 生活機能援助論 V:助くを支える機能 生活機能援助論 V:助くを支える機能 生活機能援助論 VI: 休むと情報交換を 生活機能援助論 VI: 大むと情報交換を 生活機能援助論 VI: 秋むと情報交換を 生活機能援助論 VI: 秋むと情報交換を 生活機能援助論 VI: 秋む秋忠・診豫の	年次 1後 2後 1前 1 1 1 2 2 2 3 2 4 2 4 3 1 3 2 4 3 2 3 2 3 4 3 4 3 2 3 3 4 3 4 3 3 3 3	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			授 1 1 1 1 1 2 2 1 2	教授 1 1 2 2 1 1 2 3	新 3 3 2 4 2 2 3	数 4 3 3 4 5 5 4	2 2 2 2 1	兼兼
			清護実		椇	The tree and the second	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 会物・水外摂取を 生活機能援助論 II: 会物・水外摂取を 生活機能援助論 II: 操便・排尿を支え 化洗機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 子どもを産み育て ることを支える機能 生活機能援助論 II: 子ども産み育て もことを表える機能 明明 子 II: 不可能 自動 II: 不可能 自動 II: 不可能	年次 1後後後前前後後前前 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3	教授 1 1 2 2 1 1 2 3	3 3 2 4 2 2 3 2	4 3 3 4 5 5 5 4 4	2 2 2 2 1	兼兼
			清護実		椇	The tree and the state of the s	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I:安全をまもる機能 生活機能援助論 I:生きるを支える機 能生活機能援助論 II:生きるを支える機能 生活機能援助論 II: 生きるを支える機能 生活機能援助論 II: 排便・排尿を支え 生活機能援助論 II: 排便・排尿を支え 生活機能援助論 II: 外の大の大の 支える機能 生活機能援助論 II: 外の大の大の 支える機能 生活機能援助論 II: 子ども定み育て とこと支える機能 生活機能援助論 II: 子ども定み育て とこと支える機能 生活機能援助論 II: 子ども定み育て を主活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子の と活機能援助論 II: 子の を表表の機能 を表表の機能 を表表の機能 を表表の機能 を表表の機能 を表表の機能 を表表の を表表の を表表の を表表の を表表の を表表の を表表の を表表	年次 1後後後前前後後前前 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 1 3	3 3 2 4 2 2 3 2 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2	兼兼
			清護実		椇	The Part of the state of the st	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 会物・水外摂取を 生活機能援助論 II: 会物・水外摂取を 生活機能援助論 II: 操便・排尿を支え 化洗機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 外の と支える機能 生活機能援助論 II: 子どもを産み育て ることを支える機能 生活機能援助論 II: 子ども産み育て もことを表える機能 明明 子 II: 不可能 自動 II: 不可能 自動 II: 不可能	年次 1後後後前前 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3	3 3 2 4 2 2 3 2 4	4 3 3 4 5 5 5 4 4 7	2 2 2 2 1	兼兼
			清護実		椇	THE ACT AND AND ADDRESS OF ADDRESS OF A STREET OF A ST	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 生きるを支える機能 生活機能援助論 II: 生きるを支える機能 生活機能援助論 II: 生きるを支える機能 生活機能援助論 II: 排便・排尿を支え 生活機能援助論 II: 外の表表を機能 生活機能援助論 II: みむと情報交換を 支える機能 とことを支える機能 生活機能援助論 II: みむとを度み育て とことを支える機能 生活機能援助論 II: 子どもを度み育て とことを支える機能 生活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子ども度み育て を主活機能援助論 II: 子ど を度み III: A II: A II: A III: A	年次 1 後後前前後後前前後 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 5	3 3 2 4 2 2 3 2 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2	兼兼
			清護実		椇	TANK	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能提助論 I: 安全をまもる機能 生活機能提助論 I: 安全をまるる機能 生活機能提助論 II: 生きるを支える機能 生活機能提助論 II: 排便・排尿を支える機能 生活機能提助論 II: 外心 以本 交支 之 化 使生活機能提助論 II: 外心 以本 交支 之 化 使生活機能提助論 II: 外心 化 计 有	年次 1 1 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 9 9 9 10	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	接 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 5 3	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2	兼兼
			清護実		椇		看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 女きるを支える機能 生活機能援助論 II: 操使・排尿を支え 生活機能援助論 II: 外で、シススの機能 生活機能援助論 II: 外で、シススの機能 支える機能 ここを支える機能 とことを支える機能 を立る機能 大きな機能援助論 II: 子どもを産み育て ることを支える機能 生活機能援助論 II: 子どもを産み育て ることを支える機能 生活機能援助論 II: 子どもを産み育て ることを支える機能 生活機能援助論 II: 子ど、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、中華、	年次 1 後後後前前後後前前後後前前 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	接 1 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 5 3	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 2 1 2	兼兼
			意護する	進	椇	THE ASSESSMENT OF THE PROPERTY	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1:安全をすもる機能 生活機能援助論 1:安全をするる機能 性態機能援助論 1:安全を支える 表示 2 機能 生活機能援助論 1: 共便・排尿を支える機能 生活機能援助論 1: 大小人供取 支 之 毛细胞性援助論 1: 大小人供取 支 之 毛细胞性援助論 1: 大小人供取 支 之 毛细胞性援助論 1: 大小人供和 2 大小人们,一个人们,一个人们,一个人们,一个人们,一个人们,一个人们,一个人们,一个	4次 1 1 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 6 6 6 7 8 8 9 9 1 2 2	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	接 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 5 3	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2	兼兼
			■護実 フア科	進	椇	THE ASSESSMENT OF THE PROPERTY	看護学概論 接助関係論 看護倫理 生活機能援助論1:安全をまもる機能 生活機能援助論1:安全をまもる機能 生活機能援助論1:安全をまもる機能 生活機能援助論1:安全を支える機能 生活機能援助論1:大小人民政を 生活機能援助論1:大小人民政を 生活機能援助論1:大小人民政を 生活機能援助論1:大小人民政 主活機能援助論1:大小人民政 主活機能援助論1:大小人民政 主活機能援助論1:大小人民政 表 2 (20%)	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 1 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼兼
			意護する	進	椇	The last ten at a temperature of a protection of the angle of the angl	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 安全をまもる機能 生活機能援助論 II: 安全を支える機能 生活機能援助論 II: 李文之る機能 生活機能援助論 II: 李文之る機能 生活機能援助論 II: 李文之。 核能 生活機能援助論 II: 李文之。 核能 生活機能援助論 II: 李公本之人。 Kan	4次 1 1 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 9 9 10	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	接 1 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2 1 2 1 1 1 1	兼兼
£			意護する	進	椇	表 x	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 生きるを支える機能 生活機能援助論 11: 生きるを支える機能 生活機能援助論 11: 大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 1 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼兼
護			意護する	進	椇		看護学概論 接助関係論 看護倫理 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 生きるを支える機能 生活機能援助論 1: 生活 表示 水分摂取を 生活機能援助論 1: 地域 たまえる機能 生活機能援助論 1: 地域 ときこの 1: 大小子	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	択	由	接 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 4	教 4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5	2 2 2 2 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1	兼兼
護学	専		意護する	進	椇	元文 :	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 性態性	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 1 1	4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5 8	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専	門		意護する	進	横急		看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 性活機能援助論 I: 安全をまもる機能 地震	年次 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 mit — 1 1 2 2 2 2 2 3 mit — 1 1 2 2 2 2 2 3 mit — 1 1 2 2 2 2 3 mit — 1 2 2 2 2 3 mit — 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	提 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 5 5	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 1 1	4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5 8	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教			意護する	進	模念		看護学概論 援助関係論看護倫理生活機能與助論 1: 安全をまもる機能 生活機能援助論 1: 安全をまもる機能 性態 (年次 後 後 後 前 前 後 後 前 前 後 後 後 後 前 前 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 1 2 2 2 2 3 m 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	接 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 5 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 2 4 4 1 1	4 3 3 4 5 5 5 5 4 4 7 3 5 8	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育	門科		意護する	進	横急	T N N N N N N N N N	看護学概論 援助関係論看護衛祖 生活機能理助論 I: 安全をまもる機能 性態性 現象	4次 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 6 6 7 8 8 8 9 9 10 10 11 12 12 13 14 15 16 16 17 18 10 10 10 10 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 14 14 14 14 14	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	接 1 1 1 1 1 2 2 1 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 4 1 1	4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5 8	2 2 2 2 1 1 2 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育科	門科		意護する	進	横急	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	看護学概論 援助関係 連生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまるる機能 生活機能提助論 1: 安全をまるる機能 生活機能提助論 1: 持便・排尿を 技工 6 機能 1: 表示 6 表示 7 表示 8	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 7 8 8 9 9 1 1 1 1 2 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 4 1 1	*************************************	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育科	門科		意護する	進	横急	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	看護学概論 接動関係 連生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまるる機能 生活機能提助論 1: 安全を表える機能 生活機能提助論 1: 持便、排尿を支え 6 地位 5 地位	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 4 4 5 6 6 6 6 6 7 8 8 9 9 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	1 1 1 1 2 2 1 1 3 1 1 1 1 1 4 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 3 2 4 4 1 1 1 1	*************************************	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育	門科	看護	意護する	進	横急		看護学概論 援助関係 連生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまもる機能 生活機能提助論 1: 安全をまるる機能 生活機能提助論 1: 安全をまるる機能 生活機能提助論 1: 持便・排尿を 技工 6 機能 1: 表示 6 表示 7 表示 8	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 7 8 8 9 9 1 1 1 1 2 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 3 2 4 4 1 1 1 1	*************************************	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育科	門科	看護実践	意護する	進	横急		看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 機能 機理 生活機能援助論 II: 安全をまるる機能 地	4次 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 5 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	修 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	接 1 1 1 1 1 2 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 3 3 4 5 5 5 4 4 7 3 5 8	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育科	門科	看護実践能力	護ア 健康 を 健康 を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	1 進	横急	T. A.A.	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 機能 機能 財政 II 生きるを支える取 を まご 機能 関係 II 安全をまるる機能 機能 技術 II 安全をまるる機能 技術 II 安全を表える取 支える機能	 年次 後後後前前後後前前後後後前前 後後後前前後後前前後後後後前前 一後後後後前後 後後後前後 後後後前前 11 12 12 22 23 23 24 25 26 27 26 26 27 26 27 27 26 27 27		0	0	世 1 1 1 1 1 2 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	数 4 3 3 4 5 5 5 5 4 4 7 3 5 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼 兼
護学科専門教育科	門科	看護実践能力育成	護ア実科健康者が	1 進	横急	T. A.A.	看護学概論 援助関係 理生活機能提助論 I: 安全をまもる機能 機能 機能 理生活機能提助論 I: 安全をまもる機能 化 表示	#次 後後後前前後後前前後 後後後前前一後後後後前 後 後 後 織 一前 前 前 後 前前前後後後		0	0	世 1 1 1 1 1 2 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	軟機 1 1 1 2 1 2 3 3 5 3 1 2 3 4 5 6 6 7 8 8 9 9 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教 4 3 3 4 5 5 5 5 4 4 7 3 5 8 0 0 1 1 1 1 4 5 5 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	章 2 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2	兼 兼
科	門科	看護実践能力育	護ア 健康 を 健康 を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	1 進	横念	To the second se	看護学概論 援助関係論 看護倫理 生活機能援助論 I: 安全をまもる機能 機能 機能	 年次 後後後前前後後前前後後後前前 後後後前前後後前前後後後後前前 一後後後後前後 後後後前後 後後後前前 11 12 12 22 23 23 24 25 26 27 26 26 27 26 27 27 26 27 27		0	0	世 1 1 1 1 1 2 2 1 3 1 8 6 8 2 1 1 1 1 2 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	教授 1 1 2 1 2 1 2 3 3 4 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 4 5 6 6 7 8 8 9 9 8 9 9 9 9 9 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	3 3 2 4 2 2 3 2 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	数 4 3 3 4 5 5 5 5 4 4 7 3 5 8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 2 2 2 1 1 2 3 4	兼兼兼

1復ケア論実習 I 3前後	3			2		1	1	2	
1復ケア論実習Ⅱ 3前後	3			2		1	1	2	
1復ケア論実習 3前後	3			1	2		1		
国復ケア論実習 3前後	3			1		1	1	1	
国復ケア論実習 3前後	3			1	1		2		
図 復ケア論実習 3前後	3			1	1		2		
20科目) -	32	0	0	7	4	4	8	4	兼1
活看護総論 3後	1				1				
活ケア論 4前	1				2		3		
活ケア論実習 4前	2			1	1	2	3		
3科目) -	4	0	0	1	2	2	5	0	0
ア論発展実習 4前	2			1	2			1	
理論 4前	1			1					
合演習 4後	1			8	1	1			
チームケア論 3後	1			1	3	1	3		
援論 3後	1			2	3	1	2		兼2
5科目) -	6	0	0	8	6	3	5	1	兼2
配	ij	单位类	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	必	選	自	教	准	講	助	助	-
次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
ミフィールドワーク 1後	1			1	4	2	7	2	
究 2後	1			1		2			
究 I 4前	1			8	6	3			
究 Ⅱ 4後	1			8	6	3			
リア発達論 4後	1			3		-			
5科目) —	5	0	0	8	6	4	7	2	0
	- 1	-	-	-					
) –	113	128	0	8	6	4	8	4	兼101
	現ケア論実習	複ケア論実習	現ケア論実習	1次	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3	で	現ケア族実習	現ケア族実習	現ケア論実習

「共通教育科目」で必修10単位、選択8単位以上、「専門基礎科目」で必修24単位、選択必修8単位以上、「専門 科目」で必修79単位以上を修得し、合計129単位以上を修得すること。 履修科目の登録上限は48単位(年間)とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開護となった科目についても利目名の多う。「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の信例に記入してください。
 ・ 指定規則の改正により、新日カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(前)→【令和5年度】(前)→【令和6年度】(目)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(旧)→【令和6年度】(日)

【令和5年度】

```
【令和6年度】

1. 教育効果を高めるために、「論理的思考と数的処理」の配当年次を「2後」から「2前後」に変更。

2. 担当者の事情により、「社会学」の「配当年次」を「1後」から「1前」に変更。

3. 担当者の事情により、「海外インターンシップ」の「兼任・兼担」を「兼3」から「兼2」に変更。

4. 教育効果を高めるために、「教養特講Ⅲ」の「兼任・兼担」を「兼1」から「兼2」に変更。

5. 上記3・4の変更に伴い、地域志向欄の小計「兼任・兼担」を「兼15」から「兼2」に変更。

6. 担当者の事情により、「英語オーラル・コミュニケーションII」及び「英語オーラル・コミュニケーションII」の「兼任・兼担」を「兼5」から「兼6」に変更。

7. 担当者の事情により、「英語リーディング」の配当年次を「1前後」から「1前月に変更。

8. 担当者の事情により、「英語ライティング」の配当年次を「1後」から「1前月に変更。

9. 担当者の事情により、「英語オーラル・コミュニケーションII」の「兼任・兼担」を「兼5」から「兼6」に変更。

9. 担当者の事情により、「英語ライティング」の配当年次を「1後」から「1前月に変更。

10. 令和5年度に審査中であった1年次配当科目の「有護への招待」の専任教員の判定が可となったことに伴い、看護導入科目小計欄の「教授8」から「教授7」に変更。

11. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「生活機能援助論図:在宅展開・事例展開」の「教授」を「3」へ、推模を「3」から「4」へ変更。令和5年11月AC教員審査済み。
     【今和6年度】
| 11. 着仕予定教員の死去に伴い、4+の貼当付日ン・土心場を保予で加まった。
査済み。
| 12. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「看護展開基礎論」の「教授」を「8」から「7」へ、准教授を「1」から「2」へ変更。(令和5年11月AC教員審査可)
| 13. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「看護展開基礎論」の「教授」を「6」から「5」へ、助教を「5」から「6」へ変更。(令和5年11月AC教員審査可)
| 14. 上記10~12の変更に伴い、看護実践コア科目の小計「教授」を「8」から「7」へ、変更。
| 15. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「健康回復過程論Ⅲ:人生の最期のとき・外来通院期の看護」の「教授」を「1」から「0」へ、准教授を「2」から「3」へ変更。(令
|15. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「健康回復過程顯ш:八生の取耕のとさ・外米週院耕の有護」の「教授」を「I」から「O」へ、在祭区で「2」かつ「O」へ来
和5年11月AC教育審査可)
|16. 教育効果を高めるために、「成人老年健康回復ケア織論」の「兼任・兼担」を「兼1」追加。
|17. 教育効果を高めるために、「老年健康回復ケア論」の「兼任・兼担」を「兼1」追加。
|18. 上記[6-17の変更に伴い、看護実践コア科目の小計「兼任・兼担」を「兼1」がら「兼2」へ、変更。
|19. 着任予定教員の死去に伴い、2年次配当科目の「健康回復看護総論実習」の「教授」を「7」から「6」へ、准教授を「1」から「2」へ変更。令和5年11月AC教員審査済み。
|20. 上記11~13の変更に伴い、看護実践コア科目の小計「教授」を「7」から「6」へ、変更。
```

- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

 - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	連ち
89 科目	71 科目	0 科目	160 科目	89 科目 [0]	71 科目 [0]	0 科目 [0]	160 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目滅の場合:△1) ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	かごしま教養プログラ ム	2	1	一般	選択	担当者の事情により、未開講。選択科目 の為、学生の履修に支障なし。
2	教養特講 I	2	1	一般	選択	担当者退職のため、未開講。選択科目の 為、学生の履修に支障なし。
3	教養特講Ⅱ	2	1	一般	選択	担当者退職のため、未開講。選択科目の 為、学生の履修に支障なし。
4	英語海外研修	2	1	一般	選択	担当者の事情により、未開講。選択科目 の為、学生の履修に支障なし。
5	韓国語海外研修	2	1	一般	選択	担当者の事情により、未開講。選択科目 の為、学生の履修に支障なし。
6	スポーツ実習IV (屋外 個人球技)	1	1	一般	選択	担当者が退職の為、未開講。選択科目の為、学生の履修に支障なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については学生に不利益はなく、問題ないと判断した。学生に対しては、年度初めのオリエンテーション 等で周知した。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分	,			内				容			備考
(1)	区	分		専	用	共	用		キ用する他の 学校等の専用		計		【伊敷キャンパス】 定期建物賃貸借契約
校	校	舎敷坮	也		80, 791 m²		0 m		0	mi	8	30, 791 m ²	借用面積 9,177㎡ 借用建物の建築面積合計 建築面積 3,652㎡
12	運動	動場用地	ġ		117, 092 m²		0 m		0	m²	11	7, 092 m ²	性果面積 3,032111 借用期間 21年間 事業用定期借地権設定契
地	小	ā	ł		197, 883 m²		0 m	2	0	m ²	19	97, 883 m ²	約公正証書 土地借用面積 867㎡
等	そ	の他	1		343 m²		0 m	2	0	m²		343 m ²	借用期間 22年2カ月間
₹	合	Ē	ł		198, 226 m²		0 m	2	0	m²	19	98, 226 m ²	
				専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用		計		【伊敷キャンパス】 校舎 6,522㎡
(2) 校		舎			45, 594 m ²		0 m	2	0	m²	45	5, 594 m ²	児島医療センター附属展
				(41	463 m²)	(3, 262 m²)	(869 m²)	(45, 59	4 m²)	児島看護学校の学生と校 舎を共用
			講	義 室	演	室 室	実験実習	室	情報処理学	習施設	語学学	習施設	【伊敷キャンパス】
(3) 教	室	等		39	室	32 室		80 室		4 室		0 室	
									(補助職員	0人)	(補助職員	(0人)	
(4) 専	任教員研	究室			新設学部	等の名称			室		数		
	123/2012	, 0			看護学部	看護学科			22(共同研究	室 1 室含	む)	室	
			[图書	学術	雑誌							大学全体で共用 【坂之上キャンパス】 648,184 624,436
									視聴覚資料	機械・	器具標	本	図書 653, 253冊 131, 885 125, 197
(5)	新設学 の名		〔う	ち外国書〕	〔うちタ	小国書〕	電子ジャー	ナル					〔うち外国書〕 133,623 冊 地域総合研究所蔵書追加
													による増(6) 学術雑誌8,924種 〔うち外国書〕1,027種
					₩	種	〔うち外国	書〕	点		点	点	電子ジャーナル 1 〔うち外国書〕1
			14. (037 (899)	48 [11			114				視聴覚資料 37, 954 37, 858 点
			13, 9	9 <mark>35 (897)</mark> 384 (879)	49 〔 43 〔	1	1 (1)	106 98	5, 31	7	0	機械・器具 8,706点 標本 0点 ※電子ジャーナルは1種
図書	看護	学部											40誌相当のパッケージ サービス
· 設			(13,	380 (839)	(48 [1])	(1 [1])	(99)	(4, 03	8) (0)	図書は入手不可タイトル 振替に伴う所蔵数の増。
備			14 (037 (899)	48 [1]			114				雑誌は休刊等による種数 変更。視聴覚資料は個別 登録に伴う点数変更。
			13, 9	9 <mark>35 (897)</mark> 984 (879)	49 〔 43 〔	1)	1 (1)	106 98	5, 31	7	0	(6)
	計		,	(,									
			(13, 3	380 (839)	(48 [1])	(1 [1])	(99)	(4, 03	8) (0)	
				-	1+		88 85 65	rt- #L		_	- 44	Mer	【伊敷キャンパス】
(6) 図	書	館		血	積		閲覧座	席 剱	,	以納口	丁能 冊	釵	面積 408㎡ 閲覧座席数 57 49 席 - 収納可能冊数 27千冊
(0)		20			8, 309	m²	532 549			69	7千冊		館内レイアウト変更等に 伴う座席数の変更(5)
-				面	積			- 斉館いる	 外のスポーツが	ない かい	Б		「四巻ナンン・8つ】
(7) 体	育	館		щ	11, 068		。 テニスコー	·卜,弓ì	直場,洋弓場,	柔道場,	剣道場,		【伊敷キャンパス】 -屋内運動場 面積 652㎡
		Б	<u> </u>	分	開設年度	場,少 完成年月		<u>場,ボタ</u> 分	クシング練習室 開設前年度	E, 卓球級 開設年		· <u>目的練習</u> 尼成年度	
(8)	経費の見			研究費等	350千円	350=			18,570 千円	11, 115	8	195 千円	図書費には電子ジャーナ
経費の	うり しゅうり しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう			克 費 等	1,000千円	1, 000=			185, 165 千円		千円	0 千円	ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を含
積り及維持方	法一类生			1年次	第2年次		3年次	第4年	183, 644 千円 E次 第	87,81 5年次	1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	t -
の概	安	・ハコ り 付金		1,760千円	1, 510		1,510千円		10千円	— T F		— 千円	-
	-			維持方法の					の資産運用収,				-
						=>							

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してくださ
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - 17 ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	鹿児	島国) 際 大	学							収容定員充足 率0.7倍以下 の学科数 1 収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数 0
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
経済学部	4	320	0	1400	-	0. 97	_	-	昭和35	-	
経済学科	4	170	0	740	学士 (経済学)	0. 85	-	-	昭和35	鹿児島県鹿児島 市坂之上八丁目 34番1号	令和 5 年度から入学定員変更 (200→170)
経営学科	4	150	0	660	学士 (経営学)	1. 12	1.09	-	昭和40	同上	令和 5 年度から入学定員変更 (180→150)
福祉社会学部	4	210	0	860	-	0. 97	-	-	昭和57	-	
社会福祉学科	4	90	0	380	学士 (社会 福祉学)	0.86	_	-	昭和57	鹿児島県鹿児島 市坂之上八丁目 34番1号	令和5年度から入学定員変更 (100→90)
児童学科	4	120	0	480	学士 (児童学)	1. 06	1.06	-	平成13	同上	
国際文化学部	4	145	0	600	-	0. 86	-	-	平成12	-	
国際文化学科	4	115	0	470	学士 (国際 文化学)	0. 97	-	-	平成24	鹿児島県鹿児島 市坂之上八丁目 34番1号	令和 5 年度から入学定員変更 (120→115)
音楽学科	4	30	0	130	学士 (音楽)	0. 46	_	-	平成22	同上	令和 5 年度から入学定員変更 (35→30)
<u>看護学部</u>	4	80	0	160	-	0. 95	-	-	令和5	-	
<u>看護学科</u>	4	80	0	160	学士 (看護学)	0. 95	_	-	令和5	鹿児島県鹿児島 市坂之上八日 34番1号 鹿児島県鹿児島 市下伊敷一丁目 52番17号	
大学全体	4	755	0	3020	-	0. 95	_	-	-	_	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等 (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(<u>大学院、専攻科及び別科を除く</u>)。
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
 - 「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「一」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してくださし 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、0.7倍以下又はM.15倍以上の**学科**については、**必ず太学にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太学にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1)一① 担当教員表

可時又	担当教員表 は届出時】	【令和	115年	度】	【令和	和6年	度】
職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 能) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
	堤 由美子 (688 高) (令和5年4月> 博士 (医学) 新入生ゼミナール※ 素種への紹体			堤 由 美子 (6 由 美子 (今和 5 年 4 月 7 博士 (医学) 新入生ゼミナール※ 寿禄への48 4			堤 由楽子 (69 高) 〈令和5年4月〉 博士(医学) 新入生ゼミナール※ 看護への招待
教授	福祉助関係 ・	專	教授	が成功が 地域の関係に 生生活性 大杯ごと附基礎 素養機能 有精神・健康 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	専	教授	はい 型が関係に 生 左 機能 接動
	中馬成子 (63高) <令和5年4月> 博士(看護学)			中馬成子 (63高) <令和5年4月> 博士(看護学)			中馬成子 (84高) <令和5年4月> 博士(看護学)
教授	看護への招待 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	専	教授	看護・	専	教授	看護への招待 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部
	米 増 直 美 (Acdan Naomi Yonemasu) (56) (今和 6年 4 月 > 博士 (看護学)			米 増 直 美 (Acdan Naomi Yonemasu) (56) (今和6年4月> 博士 (看護学)			米 増 直 美 (Acdan Naomi Yonemasu) (56) (今和 6 年 4 月 > 博士 (看護学)
教授	保健医療福祉行政論 健康と看護 看護展開基礎論 主。此域保健者護 健康増進ケア論工 ・健康課題が特によいた地域看護活動※ 健康増進ケア論美密 健康増進ケア協美密 健康増進ケア協美の 電機環地進ケア協美の 電子を 一般で の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	專	教授	保健医療福祉行政論 健康と 報題展開を提高 報題展開を建論 健康・ 中華・ 中華・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	保健医療福祉行政論 健康と看護 建議 環境開発之方 健康 建議 開議之方 開
	鳥 越 郁 代 (63 高) <令和5年4月> 博士(看護学)			鳥 越 郁 代 (63高) (令和5年4月> 博士(看護学) 新入生ゼミナール※			鳥 越 郁 代 (64 高) (令和5年4月> 博士(看護学) 新入生ゼミナール※
教授	いの古と看護 種様への招待 恒 生活技能の上海 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	專	教授	報送に (根本	専	教授	いのちと看護 着護への批判時間 生活機能損害 中である。 一変を表すすることを支える機 看護環開基礎論 看護環開基礎論 電護展開基礎論 可能健康回復・アニー 成育健健康回復・アニー 成育性健康回復・アニー の場合性の自動を表す。 の場合性は は成育性健康 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に 関連に
	佐々木(新庄) くみ子 (56) <令和5年4月> 博士(医学)			佐々木(新庄) くみ子 (56) <令和5年4月> 博士 (医学)			佐々木(新庄) 〈み子 (57) 〈令和5年4月〉 博士(医学)
教授	いのちと看護 電話機能性動物面 ・子と看護 ・子と看護 ・子とを支える機能 ・子とを表示することを支える機能 を表示を表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・子とを表示する。 ・・子とを表示する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専	教授	いのちと看護 看護人 中国 有護人 生活維能提助論項 ・ 京本 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	専	教授	いのちと看護 看護の招待 生:子どもを書か育てることを支える機 形態 電影を開議と映画 看護原期基度映画 電視原期基度 に成育健康回復少アが論1※ 成序育健康回復少アが論1※ 健康便健等と受論を 健康可能を受診 健康可能を受診 での での で の の 所 の 所 の 所 の 所 の に の 所 の に の に の に の
	職 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	### (1997年) 1997年 1997年	氏 名 名	展名		### 1	### 1

専任・			専任・		<u> </u>	専任・	1	I
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		山田 巧 (58) 〈令和5年4月〉 博士(看護学)			山田 巧 (58) 〈令和5年4月〉 博士(看護学)			山 田 巧 (<mark>59)</mark> 〈令和5年4月〉 博士(看護学)
專	教授	新入生生と看護 おした生と看護 を生活した。 をは、のないのの、 のないのの、 のののの、 ののののには を生活した。 をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	專	教授	新入生化ミ理 ・	專	教授	解入生ゼミナール※ いのちと看達 電視への招待 生生生きを経験が違る。 生活機能生生活機能生生活機能生生活機能生生活機能生生活機能性生生活機能性生生活機能性生生活機能性生生活機能性生生活機能性生生活機反配接側面 生活機反配接側上面 生活機能性性 生活機能性性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能性 生活機能 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個
		河 ロ 朝 子 (65 高) <令和5年4月> 博士(看護学)			河 口 朝 子 (66 高) 〈令和6年4月〉 博士(看護学)			
専	教授	人間と看護 看護不の招待 生活機能展開。事例展開 看護展開基礎與智 電視展開基礎與智 は、成と右年保健※ 値、反人老年保健※ 値、人人老年保健※ で、人人老年原回使少ア微論※ 老年健康回復少ア漁等 老年健康回復でア漁業 老年健康回復でア漁業 書話機力震楽フィールドワーク 本業研究 I	専	教授	人間との配合性の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			
		丹 羽 さよ子 (66 高) <令和5年4月> 博士 (医学)			丹 羽 さよ子 (66 高) <令和5年4月> 博士 (医学)			丹 羽 さよ子 (67 高) <令和5年4月> 博士 (医学)
專	教授	新入生して対象 (本)	專	教授	新入生せと和保持とは、	専	教授	新入生に大型 (大型 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で
		塩 満 智 子 (43) <令和5年4月> 修士(医科学)			塩 満 智 子 (43) <令和5年4月> 修士(医科学)			塩 満 智 子 (44) <令和5年4月> 修士(医科学)
専	准教授	番線とは表現 種類と生者護 種類と生者護 健康と生活機能論 1 ・ は東海連子ア論面に応じた地域看護活動※ 健康増進ケア設論面に応じた地域看護活動※ 健康増進ケア論面に応じた地域看護活動※ 健康増進ケア論の情報・活動・ 健康増進ケア論を展展・ 理事場を対している。 ・ は東海連州の大学・ ・ は東海神の大学・ ・ は東神の大学・ ・ は東海神の大学・ ・ は東神の大学・ ・ は東神の大学・ ・ は東神の大学・ ・ は東神の大学・	専	准教授	等らしと看護 館譲と看護 健康学生名護 健康学生名護 (地域と研究 (1) ・ 地域を開発 (1) ・ 地域を開発 (1) ・ 地域を発達 (1) ・ 地域を発達 (1) ・ 地域を (1) ・ 地域を	専	准教授	等らしと看護 健康生活護 健康生活護 健康性生活護 (1) 対象の発達の関い (1) 対象の発達の関い (2) 対象の発達の関い (2) 対象の (2) 対象の (3) 対象の (4)
		稻 留 直 子 (44) <令和5年4月> 修士(看護学)			稻 留 直 子 (44) <令和5年4月> 修士(看護学)			稻 留 直 子 (45) <令和5年4月> 修士(看護学)
專	准教授	新人生ゼミナール※ 存種を養福社行政論 保種医養福社行政論 保種医養福社 保護と 保護と 経建学域達者護総論 I ・地域保健が ・地域保健が ・対象の発達が ・地域保健が ・対象の発達が ・地域保健が ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では	専	准教授	新入生ゼミナール※ 保健医療管理 特別を受験を を変した。 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで	専	准教授	新入生ゼミナール※ 保健医療管理社(中政論 報道報学報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏名
兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		中 俣 直 美 (60) <令和5年4月> 修士(社会学)			中 俣 直 美 (60) <令和5年4月> 修士(社会学)			中 俣 直 美 (81) 〈令和5年4月〉 修士(社会学)
專	准教授	新徒と者能接動 1 生活を発展を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	專	准教授	新入生者で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	專	准教授	新入生ゼミナール※ 簡重と看望報告 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		武 亜希子 (46) <令和5年4月> 修士(看護学)			武 亜希子 (46) <令和5年4月> 修士 (看護学)			武 亜希子 (<mark>47</mark>) <令和 5 年 4 月> 修士 (看護学)
專	准教授	新入生生を表現。 ・ 一次 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	專	准教授	新入生さまで、	專	准教授	解入生ゼミナール※ いのもと看機 いのもと看機 と生活性能援助論 1 生生を全を主め機能 生生生活を各能援助論立る機能 生生生活性を必能援助論立る機能 生生活機で、能援助論立 生生活機(を指援助論な 生生活機の能援助論立 生生活機の整理 動態な、在電影開 展開開基機線 機能 生活機能 を記載的 を記載的 を記載的 を記載的 を記載的 を記載的 を記載的 を記載的
		安藤光子 (60) 〈令和5年4月〉 修士(看護学)			安藤光子 (60) <令和5年4月> 修士(看護学)			安藤光子 (81) 〈令和5年4月〉 修士(看護学)
專	准教授		専	准教授	幕・回した看護 生活機能振動論Ⅲ ・ 含水砂香取変支える機能 生活機能振動論Ⅲ ・ 含水砂香取変支える機能 生活機能振動論Ⅲ ・ 法活機能展開・事例展開 イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	專	准教授	幕らしと看護 援助関係接動論皿 ・食物・水分電砂を支える機能 生活機能援動論皿 ・食物・水分電砂を支える機能 生活機能援助論項 ・体活機能援助強力を支える機能 生活機能援助等例展開 看護展開基金製設 健康回復是看護秘証 ・人生の最期のとき・外来通院期の看 護米 精神健康回復を可能 接触回復を回復ケア論 精神健康回復度回復ケア論 精神健康回復度回復 まる。 第十一年 第十一年 第十一年 第十年 第十年 第十年 第十年 第十年 第十年 第十年 第十

専任・			専任・	ı		専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		小 玉 博 子 (55) <令和5年4月> 修士(看護学)			小 玉 博 子 (55) <令和5年4月> 修士(看護学)			小 玉 博 子 (56) 〈令和5年4月〉 修士 (看護学)
專	准教授	新事ら上生ど者護動は生ど者護動を発生された。 素らに機能を支える機能を支える機能を支える機能を支える機能を支える機能を支える機能性を支える機能性機能が変更を利益を対象を受ける場合を表示を提供機能の関連を表示法を機能機能の関連を表示法を機能機能の関連を対象を表示を関連を関連を対象を表示を関連を関連を対象を表示を関連を関連を対象を表示を使用のでは、対象を表示を使用を表示を使用を表示を表示を使用を表示を表示を使用を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	專	准教授	新入上とせるとは、	專	准教授	新入生とを指揮を 事を上と者援助 体 Y 主とを指揮
		有 村 優 子 (65 高) <令和5年4月> 修士(看護学)			有 村 優 子 (65 高) <令和5年4月> 修士(看護学)			有 村 優 子 (66 高) <令和5年4月> 修士(看護学)
專	講師	新大生機能 ・ 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生	專	講師	新人生機能生活性が、 ・ 大きな機能を手限を支える機能生生を接触を生態を支える機能生生は機能を主接して、 ・ 大きな機能を主接して、 ・ 大きな機能を主接して、 ・ 大きな機能を主接して、 ・ は、 ・ は、	專	品售的	新大生性を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
		西 頭 知 子 (52) <令和5年4月> 修士(保健学)			西 頭 知 子 (<mark>53</mark>) <令和5年4月> 修士(保健学)			西 頭 知 子 (54) <令和5年4月> 修士(保健学)
專	講師	新入生ゼミナール※ いのちと看護 いのちと看護 生 : 排煙能: 排尿を支える機能 生 : 排煙能: 排尿使を放動的 ・ 注流便能: 排尿性 : 排水 : 接近 : 接近 : 接近 : 注流 : 接近 : 接	專	講師	新入生生でませます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	專	講師	新入生などを支える機能生活機能は、 は、大きなでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
		- 宮 絵 美 (49) <令和5年4月> 修士(人間科学)			- 宮 絵 美 (49) <令和5年4月> 修士(人間科学)			- 宮 絵 美 (50) <令和5年4月> 修士(人間科学)
專	講師	生活使能緩射 計画 生活性 (專	講師	生芸芸機能要は 生芸芸機能要は 生芸芸機能要は まる協立 の の は を は は は は は は は は は は は は は	專	講師	生活機能援助論目 生活機能 生生活性 全球 医性性 医生生性 医生生性 医生生性 医生生性 医生生性 医生生性 医生生性

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
の別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名 野中弘美			担当授業科目名 野中弘美			担当授業科目名 野 中 弘 美
		(38) <令和5年4月> 修士(看護学)			(38) <令和5年4月> 修士(看護学)			(39) <令和5年4月> 修士(看護学)
専	講師	新人間 を	專	講師	新人型法とを担保を対しています。 新人型法とを担保を対しています。 「主要を対しています。 「主要を対していまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対しまする 「主要を対します	專	講師	新入生ゼミナール※ 人生ゼミナール※ 人間を登まする機能 生生を接触を指生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
		石川志保 (43) <令和5年4月> 修士(看護学)			石川志保 (43) <令和5年4月> 修士(看護学)			石川志保 (44) <令和5年4月> 修士(看護学)
專	助教	新元生化経験を支充の機能生生・大きな機能生生・大きな機能性を対象の機能性性がある。	專	助教	新元法・	專	助教	新元年世紀 (東京 中央
		久富木 有 加 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)			久富木 有 加 (38) <令和5年4月> 修士(看護学)			久富木 有 加 (39) <令和5年4月> 修士(看護学)
専	助教	幕 5 使能援助論 V 性 生 物 () を	専	助教	幕らした看護 生生活機能性を支引機能 生生活機能性質素を 主動では、 ・ 一部では、 ・ 一では、 ・ 一でいる、 ・ 一	専	助教	幕らした看護 生活が、 生活が、 を支える機能 生活が、 生活が、 生活が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
專	助教	構 由 記 (45) (45) (45) (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	專	助教	構 土 由 紀 (45) (45) (45) (45) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	専	助教	梅 本 (46)

専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		持 留 里 奈 (43) <令和5年4月> 修士(看護学)			持 留 里 奈 (43) <令和5年4月> 修士(看護学)			持 留 里 奈 (44) <令和5年4月> 修士(看護学)
專	助教	健康と看護 健康と看護 健康的関係能援助論 I 生・安全をまも、機能 生・安全をまも、機能 生・生きるを支える機能 生・生きるを支える機能 生・生活機能提助論 II 生・生活機能提助論 II 生・生活機能提助論 II 生・活機能更加論 II 生・子ど生を座外育でることを支える機能 生・子どもを座外育でることを支える機能 生・石機原限 事・要 健康性・経療・経療・原原 健康性・原原 過程制 に成生・原因 過程 II 成と性・原因 俊ケア論 精神健康原因 俊ケア論 精神健康原因 俊ケア論 素神・健康原因 授ケア論 素神・健康の II 成長期 使要 長春 し採業フィール・ドワーク	專	助教	健康と看護 建設開係論 1 生生活機能 1 生子活機 1 日本 1 日	專	助教	健康と表情 提助関係能達的。 提出的関係能達的。 提出的関係能達的。 使生生性。 生生活性。 生生活性。 性性。 生活性。 性質、 性質、 性質、 性質、 性質、 性質、 性質、 性質、
		小 原 めぐみ (38) <令和5年4月> 修士(看護学)			小 原 めぐみ (38) <令和5年4月> 修士(看護学)			小原めぐみ (39) <令和5年4月> 修士(看護学)
専	助教	人間東別報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	專	助教	人間連 工業 理 工業 理 工業 工業 工業 工場 工場 工場 工場 工場 工場 工場 工場 工場 工場	専	助教	日本 日
		春 田 陽 子 (40) <令和5年4月> 修士(看護学)			春 田 陽 子 (40) <令和5年4月> 修士(看護学)			春 田 陽 子 (41) 〈令和5年4月〉 修士(看護学)
專	助教	幕しと看機 ・	専	助教	幕ら助と看護 地域の 地域の は は は は は は は は は は は は は	専	助教	幕助財保施援助論 面 : 大会議 機能 生活物 (根
		平 松 明 子 (36) <令和5年4月> 修士(看護学)			平 松 明 子 (36) <令和5年4月> 修士(看護学)			平 松 明 子 (37) <令和5年4月> 修士(看護学)
専	B)19X	新入生ゼミナール※ 暮らしと者護 提助関係論 生活機能接助論 V 生活機能接助論 V 生活機能接助論 V 生活機能接助論 V 生活機能接助論 V 生活機能接助論 V 生活体性接触器 V 生活体性接触器 V 生活体性機能 V 二 在電機開基 被強 看護機開基被強 間 (人人健康回復 V 一 大 企 の最明のと 音線 (大 生 の最初のと 音線 (大 生 の最初のと 音線 (大 生 の 長 の 長 の 長 の 長 の 長 の 長 の 長 の 長 の 長 の	專	助教	新名の記述を 新名の記述を 第二の記述を 第二	專	助教	新書担土 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
		水 迫 友 和 (41) <令和5年4月>			水 迫 友 和 (41) <令和5年4月>			水 迫 友 和 (42) <令和5年4月>
專	助教	修士(医科学) 新八生ゼミナール※ 人間と看護 暴らと看護 基活機能理動論 主食物・水分預取を支える機能 生活機能理動論 主活機能理動論 主表機能理動論 主表機能理動論 主表機能理動 主活機能理動 主活機能理動 主活機能理動 主活機能理動 主活機能理動 主活機能理動 主述機能理動 主述機能理	専	助教	修士 (医科学) 新入生 ゼミナール※ 人間と看護 生生者護 生き 機能・水分損取を支える機能 生き機能・水分損取を支える機能 生き 機能を支える機能 生・ 動物・水分損取を支える機能 生・動・症機能性情報動強性 ・・ 体活機能動強性 ・・ 水子機能 ・・ 表示機能を持動強強 ・・ 表示機能	専	助教	修士 (版科学) 新聞と電影響となった。 新聞と音楽を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を

専任・			専任・			専任・		_
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	学長	大久保 幸 夫 (69) (今和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	大久保 幸 夫 (69) <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	大久保 幸 夫 (70) <令和5年4月> 博士(理学)
		データサイエンス・AI入門 地域から世界へ			データサイエンス・AI入門			データサイエンス・AI入門
兼担	教授	山 本 晃 正 (69) <令和5年4月> 法学修士※	兼担	教授	山 本 晃 正 (70) <令和5年4月> 法学修士※	兼担	教授	山 本 晃 正 (71) <令和5年4月> 法学修士※
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
兼担	教授	森 勝 彦 (69) <令和5年4月> 国際学修士※	兼担	教授	森 勝 彦 (69) <令和5年4月> 国際学修士※			
		地理学			地理学			
兼担	教授	里 園 清 孝 (68) (68) (今和5年4月> 経済学修士※						
		コミューケーションガ育成						
			兼担	教授	長田 新太郎 (68) 《令和5年4月》 芸術学士	兼担	教授	長田 新太郎 (<mark>69</mark>) <令和5年4月> 芸術学士
					音楽文化論※			音楽文化論※
兼担	教授	高 橋 信 行 (68) <令和5年4月> 文学修士	兼担	教授	高 橋 信 行 (68) <令和5年4月> 文学修士	兼担	教授	高 橋 信 行 (69) <令和5年4月> 文学修士
		教養特講Ⅲ			教養特講Ⅲ			教養特講Ⅲ
兼担	教授	八 木 正 (68) <令和5年4月> 経済学修士※	兼担	教授	八 木 正 (68) <令和5年4月> 経済学修士※	兼担	教授	八 木 正 (69) <令和5年4月> 経済学修士※
ALIE.	9818	地域経済論 環境経済論 I 環境経済論 I 森 孝 晴	***	4212	地域経済論 環境経済論 I 環境経済論 I 森 孝 晴	ak in	7418	地域経済論 環境経済論 I 環境経済論 I
兼担	教授	(68) <令和5年4月> 博士(国際文化学)	兼担	教授	(68) <令和5年4月> 博士(国際文化学)	兼担	教授	(69) <令和5年4月> 博士(国際文化学)
		かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール			かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール			かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール
兼担	教授	KAMCHAI LAISMIT (67) <令和5年4月> 経済学修士※	兼担	教授	KAMCHAI LAISMIT (67) 〈令和5年4月〉 経済学修士※	兼担	教授	KAMCHAI LAISMIT (68) <令和5年4月> 経済学修士※
		経済学			経済学			経済学
兼担	教授	西原 誠司 (67) <令和5年4月> 経済学博士	兼担	教授	西原 誠司 (67) <令和5年4月> 経済学博士	兼担	教授	西原 誠司 (<mark>68</mark>) <令和5年4月> 経済学博士
		かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール			かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール			かごしま教養プログラム かごしまフィールドスクール
兼担	教授	岡村 重信 (66) <令和5年4月> Master of Music(米国)	兼担	教授	岡村 重信 (66) <令和5年4月> Master of Music(米国)	兼担	教授	岡村 重信 (<mark>67</mark>) <令和5年4月> Master of Music(米国)
		音楽文化論※			音楽文化論※			音楽文化論※
		DAVID MCMURRAY (66) <令和15年4月> M.B.A. Master of Business Administration(カナダ)			DAVID MCMURRAY (66) <令和5年4月> M.B.A. Master of Business Administration(カナダ)			DAVID MCMURRAY (<mark>67</mark>) <令和5年4月> M.B.A. Master of Business Administration(カナダ)
兼担		Japanology※ 海外インターンシップ 英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I Global Economy and Business※	兼担	教授	Japanol ogy※ 海外インターンシップ	兼担	教授	Japano l ogy※ 海外インターンシップ
		加藤 一弘 (66) <令和5年4月>			加藤 一弘 (66) <令和5年4月>			加藤 一弘 (87) <令和5年4月>
兼担	教授	経済学修士※ 経済学	兼担	教授	経済学修士※	兼担	教授	経済学修士※ 経済学
		Global Economy and Business※			Global Economy and Business※			Global Economy and Business※
		有松 しづよ (66) <令和5年4月> 国際学修士 教育学修士※			有松 しづよ (66) <令和5年4月> 国際学修士 教育学修士※			
兼担		キャリア形成のための一般教養 I キャリア形成のための一般教養 I キャリア形成のための一般教養 II キャリア形成のための一般教養 II キャリア形成のための一般教養 IV 議盟的男母と教的報 キャリア形成のための文章力育成 教養特講 I	兼担	教授	キャリア形成のための一般教養 I キャリア形成のための一般教養 II キャリア形成のための一般教養 II キャリア形成のための一般教養 II ・キャリア形成のための一般教養 IV ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
兼担	教授	日野 一成 (65) <令和 5 年 4 月> 博士 (法学)	兼担	教授	日野 一成 (65) <令和5年4月> 博士(法学)	兼担	教授	日野 一成 (86) <令和5年4月> 博士(法学)
	-	法学			法学			法学
兼担	新扣	戦 慶勝 (64) <令和6年4月> 博士(国際文化学)	兼担	数·I□	戦 慶勝 (64) <令和6年4月> 博士(国際文化学)	兼担	#h+□□	戦 慶勝 (64) <令和6年4月> 博士(国際文化学)
本担	教授	海外インターンシップ	末坦	教授	海外インターンシップ	末担	教授	海外インターンシップ
				<u> </u>				

専任・			専任・			専任・		T
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	村瀬 士朗 (64) <令和5年4月> 文学修士※	兼担	教授	村瀬 士朗 (64) <令和5年4月> 文学修士※			
		日本文学 康上 賢淑 (63) <令和5年4月>			日本文学 康上 賢淑 (63) <令和5年4月>			康上 賢淑 (84) <令和5年4月>
兼担	教授	博士(経済学) Global Economy and Business※	兼担	教授	博士(経済学) Global Economy and Business※	兼担	教授	博士(経済学) Global Economy and Business※
兼担	教授	JEFFREY SCOTT IRISH (会和5年4月> Master of Arts Regional Studies - East Asia(米国) 地域創生 I (Jobal Economy and Business※まちづくり概論	兼担	教授	JEFFREY SCOTT IRISH (今和5年4月> Master of Arts Regional Studies - East Asia (米国) 地域創生 I 地域創生 I Global Economy and Business※ まちづくり概論	兼担	教授	JEFFREY SCOTT IRISH (会別5年4月> (会別5年4月> Master of Arts Regional Studies - East Asia(米国) 地域創生 II は城創生 II Global Economy and Business※ まちづくり概論
兼担	教授	山下。孝子 ((61) 〈令和5年4月〉 文学修士※ 外国文学 外国文学 外国文学 表語オーラル・コミュニケーション I 美語オーラル・コミュニケーション I 美語オーラル・フミュニケーション I 英語 J ディング 英語 ライティング 英語 英文跳解の技法	兼担	教授	山下 孝子 (61) <令和5年4月> 文学修士※ Japanology※ 英語リーディング 英語ライティング 英文語解の技法	兼担	教授	山下 孝子 (62) < 令和5年4月> 文学修士※ Japanology 英語リーディング 実話ライティング 実文辨の技法
兼担	教授	久保	兼担	教授	久保 禎 (60) <令和5年4月> 教育学修士	兼担	教授	久保 禎 (61) 〈令和5年4月〉 教育学修士 音楽文化論※
兼担	教授	飯田 伸二 (59) (今和5年4月> 博士(文学) 基礎フランス語 I 基礎フランス語 I	兼担	教授	飯田 伸二 (59) (今和5年4月> 博士(文学) 基礎フランス語 I 基礎フランス語 I	兼担	教授	版田 伸二 (60) <令和5年4月> 博士(文学) 基礎フランス語 I 基礎フランス語 I
兼担	教授	表 正幸 (59) <令和5年4月> 英文学修士※ 情報処理 英語オーラル・コミュニケーション I 仮ilobal Economy and Business※ 海外インターンシップ	兼担	教授	表 正幸 (59) <令和5年4月> 英文学修士※ 情報処理 美麗リーディング Global Economy and Business※ 海外インターンシップ	兼担	教授	表 正幸 (60) 〈令和5年4月〉 英文学修士※ 情報処理 Global Economy and Business※
兼担	教授	中國 聡 (58) 〈令和5年4月〉 博士(文学) 文化人類学	兼担	教授	中國 聡 (58) (58) (58) (57) (57) (58) (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57) (57	兼担	教授	中園 聡 (59) 〈令和5年4月〉 博士(文学) 文化人類学
兼担	教授		兼担	学長	小林 潤司 (59) (今和5年4月> 文学修士※ Japanology※ 英語海外研修 コミュニケーションのための英文法 地域から世界へ	兼担	学長	小林 潤司 (59) 〈令和5年4月〉 文学修士※ Japanology※ 楽語海外研修 地域から世界へ
兼担	教授	大西 智和 (57) (57) (今和5年4月) 博士(文学)	兼担	教授	大西 智和 (57) 〈令和5 年4月〉 博士(文学) Japanology※	兼担	教授	大西 智和 (58) <令和5年4月> 博士(文学) Japanology※
			兼担	教授	及川 査繁 (今和5年4月> 条術学士	兼担	教授	及川 實際 (57) 〈令和5年4月〉 蒸褥学士 音楽文化論※
兼担	教授	TOLAND SEAN HENRY <令和5年4月> <令和5年4月> Master in Education(カナダ) Japanology)※ 英語オーラル・コミュニケーションII 英語オーラル・コミュニケーションII	兼担	教授	TOLAND SEAN HENRY (今和5年4月> Master in Education(カナダ) Japanology※	兼担	教授	TOLAND SEAN HEIRTY (名) 〈報日年4月> Master in Education(カナダ) Japanology※
			兼担	教授	住田 精子 (53) <令和5年4月> 教育学博士	兼担	教授	住田 梅子 (54) (今和5年4月) 教育学博士

専任・			専任・		1	専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名	L		担当授業科目名
兼担	教授	太田 秀春 (50) <令和 5 年 4 月> 博士(国際文化)	兼担	教授	太田 秀春 (50) <令和5年4月> 博士 国際文化)	兼担	教授	太田 秀春 (<mark>51</mark>) <令和5年4月> 博士(国際文化)
本担	教授	日本史日本史特論	末担	教授	日本史特論	末担	教授	日本史特論
			兼担	教授	模 漢信 (50) <令和5年4月> 博士(経済学)	兼担	教授	権 清信 (51) <令和5年4月> 博士(経済学)
					ボランティア活動			ボランティア活動
兼担	教授	伊藤 綾 (46) <令和5年4月> 哲学博士	兼担	教授	伊藤 綾 (46) <令和5年4月> 哲学博士	兼担	教授	伊藤 綾 (47) <令和5年4月> 哲学博士
		音楽文化論※			音楽文化論※			音楽文化論※
兼担	教授	林 岳宏 (44) <令和6年4月> 博士(医学)	兼担	教授	林 岳宏 (44) <令和6年4月> 博士(医学)	兼担	教授	林 岳宏 (44) <令和6年4月> 博士(医学)
		健康障害とその治療IV※ 災害支援論※ 岩下 雅子			健康障害とその治療IV※ 災害支援論※ 岩下 雅子			健康障害とその治療IV※ 災害支援論※
兼担	准教授	(6) (69) (令和5年4月> 修士(教育学)	兼担	准教授	(69) (令和5年4月> 修士(教育学)			
		教養特講 I 福田 正彦			教養特講Ⅱ 福田 正彦			
兼担	准教授	(69) <令和5年4月> 修士(経営学)※	兼担	准教授	(69) <令和5年4月> 修士(経営学)※			
		Global Economy and Business%			Global Economy and Business※ 馬原 柚子 (49)			馬原 格子 (50)
			兼担	准教授	<合和5年4月> 修士(音楽)	兼担	准骸授	<令和5年4月> 修士(音楽)
		計四 第 主			音楽文化論※			音楽文化論※
兼担	准教授	武田 篤志 (48) <令和5年4月> 博士(文学)	兼担	准教授	武田 篤志 (48) (今和5年4月> 博士(文学)	兼担	准教授	武田 篤志 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		社会学 地域社会論 池田 亮一			社会学 地域社会論 池田 亮一			社会学 地域社会論 池田 亮一
兼担	准教 授	(47) <令和5年4月> 博士(応用経済学)	兼担	准教授	(47) (47) (今和5年4月> 博士(応用経済学)	兼担	准教授	(48) <令和5年4月> 博士(応用経済学)
		経済学 木村 拓			経済学			経済学
兼担	准教 授	(46) <令和5年4月> 博士(文学)						
		韓国語海外研修						
						兼担	准教授	内山 仁 (41) <令和6年4月> 修士(徽青学)
								キャリア形成のための一般教養 I キャリア形成のための一般教養 I
兼担	准教授	武藤 那賀子 (37) <令和5年4月> 博士(日本語日本文学)				兼担	准教授	武藤 那賀子 (38) <令和5年4月> 博士(日本語日本文学)
		日本文学			士士 88.丝		-	日本文学
#	准教	吉本 隆哉 (37) <令和5年4月> 博士(体育学)	بد	准教	吉本 隆哉 (37) <令和5年4月> 博士(体育学)	<u></u>	准教	吉本 隆哉 (38) <令和 5 年 4 月> 博士 (体育学)
兼担	授	日常生活に生かすスポーツ科学 スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習 I (屋内個人球技)	兼担	授	日常生活に生かすスポーツ科学 スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実書 I (個人種目)	兼担	授	日常生活に生かすスポーツ科学 スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習皿 (個人種目)
兼担	准教	西 宏樹 (36) <令和5年4月> 修士(流通科学)※	兼担	准教	西 宏樹 (36) <令和5年4月> 修士(流通科学)※	兼担	教授	西 宏樹 (<mark>37</mark>) <令和5年4月> 修士(流通科学)※
	授	Global Economy and Business※		授	Global Economy and Business※			Global Economy and Business※
兼担	准教	今村 隼人 (31) <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	准教	今村 隼人 (31) 〈令和5年4月〉 博士(理学)	兼担	准教	今村 隼人 (32) (令和5年4月> 博士(理学)
. are diss	授	数学 I 数学 I 確率と統計	rob tail	授	数学 I 数学Ⅲ 確率と統計	7117	授	数学Ⅰ 数学Ⅱ 確率と統計 Global Economy and Business※
兼担	講師	大野 陽子 (59) <令和5年4月> 博士(経営学)						
		海外インターンシップ Global Economy and Business※						

専任・		E 29	専任・		E 29	専任・		u 20
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		L	担当授業科目名	L	L	担当授業科目名
		永冨 大舗 (38) <令和5年4月>			永冨 大舗 (38) <令和5年4月>			永富 大舗 (39) <令和5年4月>
兼担	講師	<令和5年4月> 修士(障害科学)	兼担	講師	く 守和5年4月> 修士(障害科学)	兼担	講師	<令和5年4月> 修士(障害科学)
		心理学			心理学			心理学
兼担	講師	原口 惠 (36) <令和5年4月> 修士(心理学)※	兼担	講師	原口 惠 (36) <令和5年4月> 修士(心理学)※	兼担	講師	原口 惠 (37) <令和5年4月> 修士(心理学)※
		心理学			心理学			心理学
兼担	講師	平出 宜勝 (36) <令和5年4月> 博士(経済学)	兼担	講師	平出 宜勝 (36) <令和5年4月> 博士(経済学)	兼担	講師	平出 宜勝 (37) <令和5年4月> 博士(経済学)
		Global Economy and Business※			Global Economy and Business※			Global Economy and Business※
兼担	Dh.#/r	濱中 良 (33) <今和5年4月> 修士(体育学) 現代社会とスポーツ						
煮担	助教	場ではまとストーク スポーツ実習 I (屋内集団球技) スポーツ実習 I (屋内個人球技) スポーツ実習 II (個月個人球技) スポーツ実習 IV (屋外個人球技) スポーツ実習 IV (屋外集団球技)						
			兼担	助教	加藤 凌 (26) <令和5年4月> 被職修士(李門職)	兼担	助教	加藤 凌 (27) <令和5年4月> 後職修士(専門職)
		70 4-			製作社会とスポーツ スポーツ実管 I (銀内集団球技) スポーツ実管 I (銀内銀人球技) スポーツ実管 II (銀人銀技)			現代社会とスポーツ スポーツ実管 I (国内集団球技) スポーツ実管 I (国内債人球技) スポーツ実管 I (個人種目) スポーツ実管 I (個外集団球技)
兼任	講師	江口 惠子 (74) <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	江口 惠子 (74) <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	江口 惠子 (74) <令和6年4月> 專門学校卒
		看護倫理※			看護倫理※			看護倫理※
兼任	講師	亀山 正樹 (71) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	亀山 正樹 (71) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	亀山 正樹 (<mark>72</mark>) <令和5年4月> 医学博士
		からだの仕組みと働きⅡ			からだの仕組みと働きⅡ			からだの仕組みと働きⅡ
兼任	講師	新村 恵子 (69) <令和5年4月> 親光経営科修士(韓国)	兼任	講師	新村 恵子 (69) <令和5年4月> 親光経営科修士(韓国)	兼任	講師	新村 恵子 (70) <令和5年4月> 観光経営科修士(韓国)
		基礎韓国語 I 基礎韓国語 II			基礎韓国語 I 基礎韓国語 II			基礎韓国語 I
兼任	講師	連并 和久 (69) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	連井 和久 (69) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	連井 和久 (70) <令和5年4月> 博士(医学)
		からだの仕組みと働き I			からだの仕組みと働きI			からだの仕組みと働き I
		吉家 清貴 (68) <令和5年4月> 医学博士			吉家 清貴 (68) 〈令和5 年4月〉 医学博士			吉家 清貴 (<mark>69</mark>) <令和5年4月> 医学博士
兼任	講師	感染と防御	兼任	講師	感染と防御	兼任	講師	感染と防御
		坂本 音生			坂本 音生	-		坂本 育生
	S#4~	(67) <令和5年4月> 文学修士	** **		(67) <令和5年4月> 文学修士	**		(68) <令和5年4月> 文学修士
兼任	講師	英語リーディング 英語ライティング TOEIC・TOEFL対策	兼任	講師	TOEIC · TOEFL対策	兼任	講師	TOEIC・TOEFL対策 コミュニケーションのための英文法
***	CMAT.	宇都 由美子 (67) <令和6年4月> 博士(医学)	***	D#AT	宇都 由美子 (67) 〈令和6年4月〉 博士(医学)	34- 1	D#AT	宇都 由美子 (67) <令和6年4月> 博士(医学)
兼任	講師	医療情報活用論	兼任	講師	医療情報活用論	兼任	講師	医療情報活用論
兼任	186T	中島 均 (65) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	=# 6x	中島 均 (65) <令和6年4月> 学士(医学)			
ar II	講師	健康障害とその治療 I ※	水江	講師	健康障害とその治療 I ※			
兼任	講師	田中 康博 (65) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	田中 康博 (65) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	田中 康博 (65) <令和6年4月> 学士(医学)
		健康回復看護総論※			健康回復看護総論※			健康回復看護総論※
ш.								Į.

			-			-		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名 平井 一臣 (64) <今和5年4月> 博士(法学)	兼任	講師	担当授業科目名 平井 一臣 (65) <令和5年4月> 博士(法学)	兼任	講師	担当授業科目名 平井 一臣 (66) 〈令和5年4月〉 博士(法学)
		政治学			政治学			政治学 道田 拳志
						兼任	跳師	(66) 〈令和6年4月〉 修士(教育学)
								教育方法学
兼任	講師	城ケ崎 倫久 (64) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	城ケ崎 倫久 (64) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	城ケ崎 倫久 (<mark>65</mark>) <令和5年4月> 医学博士
		からだの異常の診断技術※ 大塚 眞紀			からだの異常の診断技術※ 大塚 眞紀			からだの異常の診断技術※ 大塚 眞紀
兼任	講師	(64) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	(64) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	(64) <令和6年4月> 学士(医学)
		健康障害とその治療 I ※ 松崎 勉			健康障害とその治療 I ※ 松崎 勉			健康障害とその治療 I ※ 松崎 勉
兼任	講師	化啊 ²²² (64) <令和 6 年 4 月> 医学博士	兼任	講師	(164) (64) (今和6年4月> 医学博士	兼任	講師	化岬 烟 (64) <令和6年4月> 医学博士
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		健康障害とその治療Ⅱ※	7117 1181		健康障害とその治療Ⅱ※	7114 1111		健康障害とその治療Ⅱ※
**	TARR	池元 正美 (63) <令和 5 年 4 月> 理学士	*#		池元 正美 (63) <令和5年4月> 理学士	*##	T	池元 正美 (<mark>64</mark>) <令和 5 年 4 月> 理学士
兼任	講師	コミュニケーション力育成	兼任	講師	コミュニケーションカ育成	兼任	講師	コミュニケーション力育成 キャリア形成のための文章力育成
		侯 德興 (<mark>62</mark>) 〈令和5年4月〉 農学博士博士(薬学)			侯 德興 (63) <令和5年4月> 農学博士博士(薬学)			侯 德興 (64) <令和5年4月> 農学博士 博士(薬学)
兼任	講師	代謝と栄養※	兼任	講師	代謝と栄養※	兼任	講師	代謝と栄養※
								
						兼任	講師	健康障害とその治療Ⅰ※
		中崎 滿浩 (62) <令和 6 年 4 月 > 博士 (医学)			中崎 満浩 (62) <令和6年4月> 博士(医学)			中崎 滿浩 (62) <令和6年4月> 博士 (医学)
兼任	講師	健康障害とその治療収※	兼任	講師	健康障害とその治療Ⅳ※	兼任	講師	健康障害とその治療収※
		GORHAM PATRICK JAMES (61) <令和5年4月>			GORHAM PATRICK JAMES (61) <令和5年4月>			GORHAM PATRICK JAMES (62) <令和5年4月>
兼任	講師	Master of Education(TESOL) TEMPLE UNIVERSITY JAPAN 英語オーラル・コミュニケーション I	兼任	講師	Master of Education(TESOL) TEMPLE UNIVERSITY JAPAN 英語オーラル・コミュニケーション I	兼任	講師	Master of Education(TESOL) TEMPLE UNIVERSITY JAPAN 英語オーラル・コミュニケーション I
		英語オーラル・コミュニケーションⅡ			英語オーラル・コミュニケーションⅡ			英語オーラル・コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	新福 重実 (61) <令和5年4月> 修士(文学)			新福 登実 (62) (令和5年4月> 修士(文学)
			**	at 100	英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I	兼任	講師	美勝オーラル・コミュニケーション I 美勝オーラル・コミュニケーション I 美勝リーディング 美勝ライティング
兼任	講師	竹岡 健一 (61) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	竹岡 健一 (61) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	竹岡 健一 (<mark>62</mark>) <令和5年4月> 博士(文学)
and	m2Hjt	基礎ドイツ語 I 基礎ドイツ語 II	ener lab	w7HII	基礎ドイツ語 I 基礎ドイツ語 I	Pile lab	m7HP	基礎ドイツ語 I 基礎ドイツ語 II
兼任	講師	野元 三治 (61) 〈令和5年4月〉 医学博士	兼任	講師	野元 三治 (61) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	野元 三治 (82) <令和5年4月> 医学博士
		からだの異常と発生メカニズム 郡 山 暢 之			からだの異常と発生メカニズム 郡 山 暢 之			からだの異常と発生メカニズム 郡 山 暢 之
兼任	講師	(61) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	(61) <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	(61) <令和6年4月> 学士(医学)
		健康障害とその治療Ⅱ※ 福 満 博 隆			健康障害とその治療 I ※ 福 満 博 隆			健康障害とその治療Ⅱ※
兼任	講師	(60) <令和5年4月> 教育学修士	兼任	講師	(60) <令和5年4月> 教育学修士	兼任	講師	福 満 博 隆 (81) <令和5年4月> 教育学修士
		スポーツ実習 I (屋内個人球技) スポーツ実習 II (個人種目) スポーツ実習 V (屋外集団球技)			スポーツ実習 I (屋内個人球技) スポーツ実習 II (個人種目) スポーツ実習 V (屋外集団球技)			スポーツ実習Ⅱ (屋内個人球技) スポーツ実習Ⅲ (個人種目) スポーツ実習Ⅳ (屋外集団球技) 末満 一二三
						兼任	講師	水洞 (61) <令和6年4月> 学士(農学)
								論理的思考と敷的処理
兼任	講師	飯干 紀代子 (60) <令和6年4月> 博士(保健科学)	兼任	講師	飯干 紀代子 (60) <令和6年4月> 博士(保健科学)			
20 th	ur pili	生涯発達論	an III	ma tilli	生涯発達論			
					29			

専任・			専任・			専任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	堀内 正久 (60) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	堀内 正久 (60) <令和5年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	堀内 正久 (<mark>61</mark>) <令和5年4月> 博士 (医学)
		働く人の健康			働く人の健康			働く人の健康
		田中 裕治 (60) <令和66年4月> 学士(医学)			田中 裕治 (60) <令和6年4月> 学士(医学)			田中 裕治 (60) <令和6年4月> 学士(医学)
兼任	講師	健康障害とその治療皿※	兼任	講師	健康障害とその治療皿※	兼任	講師	健康障害とその治療皿※
		東元 一晃 (59) <令和6年4月> 博士(医学)			東元 一晃 (59) <令和6年4月> 博士(医学)			東元 一晃 (59) <令和6年4月> 博士(医学)
兼任	講師	(時工 (医子) 健康障害とその治療 I ※	兼任	講師	(時工 (医子) 健康障害とその治療 I ※	兼任	講師	博工 (医子) 健康障害とその治療 I ※
								水主 いづみ (59) <令和6年4月> 学士(社会学)※
						兼任	請師	学士(社会学)※ 成人老年健康回復ケア振論※ 老年健康回復ケア論※
		平 瑞樹 (58)			平 瑞樹 (58)			老年職業回復ケノ■ ※ 平 瑞樹 (59)
兼任	講師	<令和5年4月> 博士(農学)	兼任	講師	<令和(56) <令和(56年4月> 博士(農学)	兼任	講師	<令和5年4月> 博士(農学)
		地球で生きるいのち 薬林 文夫			地球で生きるいのち 栗林 文夫			地球で生きるいのち 栗林 文夫
兼任	講師	(58) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	(58) (58) (今和5年4月> 文学修士	兼任	講師	(59) <令和5年4月> 文学修士
		日本史			日本史			日本史
		井手上 淳一 (58) <令和 5 年 4 月 > 学士 (医学)			井手上 淳一 (58) <令和5年4月> 学士(医学)			井手上 淳一 (59) <令和 5 年 4 月 > 学士(医学)
兼任	講師	からだの異常の診断技術※	兼任	講師	からだの異常の診断技術※	兼任	講師	からだの異常の診断技術※
					丹羽 佐紀 (58) <令和 5 年 4 月>			丹羽 佐紀 (59) <令和5年4月>
			兼任	講師	修士(文学)	兼任	講師	修士(文学)
		山形 真一			山形 真一			外国文学 山形 真一
兼任	講師	(57) <令和6年4月> 修士(薬学)	兼任	講師	(57) <令和6年4月> 修士(薬学)	兼任	講師	(57) <令和6年4月> 修士(薬学)
		薬理学			薬理学			薬理学
		松岡 秀樹 (57) <令和6年4月> 学士(医学)			松岡 秀樹 (57) <令和6年4月> 学士(医学)			松岡 秀樹 (57) <令和6年4月> 学士(医学)
兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※	兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※	兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※
		郡山 千早 (57) <令和6年4月>			郡山 千早 (57) <令和6年4月>			郡山 千早 (57) <令和6年4月>
兼任	講師	Master of Public Health(米国) 博士(医学)	兼任	講師	Master of Public Health(米国) 博士(医学)	兼任	講師	Master of Public Health(米国) 博士(医学)
		疫学 鄭 美淑			変学			変学
兼任	講師	(55) <令和5年4月> 学士児童心理学科(韓国)	兼任	講師	(55) <令和5年4月> 学士児童心理学科(韓国)	兼任	講師	(56) <令和5年4月> 学士児童心理学科(韓国)
		基礎韓国語 I 基礎韓国語 II			基礎韓国語 I 基礎韓国語 Ⅱ			基礎韓国語 I 基礎韓国語 Ⅱ
						兼任	鉄師	増船 晶起 (56) <令和6年4月> 博士(理学)
						-		地理学
		松下 茂人 (55) <令和 6 年 4 月> 医学博士			松下 茂人 (55) <令和6年4月> 医学博士			松下 茂人 (55) <令和6年4月> 医学博士
兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※	兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※	兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※
								河野 智志 (55) <令和6年4月>
						兼任	講師	学士 (医学) 健康障害とその治療皿※
					** =-*	-		
			兼任	講師	療地 賈一郎 (55) <令和5年4月> 英語学修士	兼任	講師	着地 夏一郎 (56) <令和5年4月> 英語学修士
					英語オーラル・コミュニケーションI 英語オーラル・コミュニケーションI			英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション II
		内山 美香 (54) <令和7年4月> 専門学校卒			内山 美香 (54) <令和7年4月> 専門学校卒			内山 美香 (54) <令和7年4月> 専門学校卒
兼任	講師	災害支援論※	兼任	講師	災害支援論※	兼任	講師	災害支援論※
			ш		30		l	

専任・			専任・			専任・	ı —	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大和 多加子 (53) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	大和 多加子 (53) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	大和 多加子 (<mark>54</mark>) <令和5年4月> 文学修士
		英語リーディング 英語ライティング			英語リーディング 英語ライティング			英語リーディング 英語ライティング
兼任	講師	森内 昭博 (53) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	森内 昭博 (53) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	森内 昭博 (<mark>54</mark>) <令和6年4月> 医学博士
		健康障害とその治療 I ※			健康障害とその治療 I ※			健康障害とその治療 I ※
兼任	講師	河原 康一 (52) <令和 5 年 4 月> 博士(理学)	兼任	講師	河原 康一 (52) <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	河原 康一 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		生命科学 環境科学 藤内 哲也			生命科学環境科学 藤内 哲也			生命科学環境科学 藤内 哲也
兼任	講師	(52) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	(52) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	(53) <令和5年4月> 博士(文学)
		西洋史			西洋史			西洋史
兼任	講師	新永 浩子 (52) <令和 5 年 4 月> 博士(理学)	兼任	講師	新永 浩子 (52) <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	新永 浩子 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		いのちをはぐぐむ地球			いのちをはぐぐむ地球			いのちをはぐぐむ地球
兼任	講師	川畑 英之 (52) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	川畑 英之 (52) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	川畑 英之 (52) <令和 6 年 4 月 > 医学博士
		健康障害とその治療Ⅱ※ 恒松 良祐			健康障害とその治療 I ※ 恒松 良祐			健康障害とその治療Ⅱ※
兼任	講師	(52) <令和 6 年 4 月 > 医学博士	兼任	講師	(52) <令和 6 年 4 月> 医学博士			
		健康障害とその治療皿※			健康障害とその治療皿※			
			兼任	鉄師	神龍 紀幸 (52) 〈令和5年4月〉 修士 (学術)	兼任	講師	神蘭 紀幸 (53) (令和5年4月> 修士(学術)
					社会心理学			社会心理学
		岩重 正一 (51) <令和5年4月>			岩重 正一 (51) <令和5年4月>			岩重 正一 (<mark>52</mark>) <令和5年4月>
兼任	講師	博士(社会福祉学) 心理学	兼任	講師	博士(社会福祉学)	兼任	講師	博士(社会福祉学)
					上村 真之 (51) <令和5年4月> Master of Fine Arts			上村 真之 (52) <令和5年4月> Master of Fine Arts
			兼任	講師		兼任	講師	英語オーラル・コミュニケーション I
		鶴真一			英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I 英語ライティング			英語オーラル・コミュニケーション I 英語ライティング 鶴 真一
兼任	講師	(50) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	(50) <令和5年4月> 博士(文学)	兼任	講師	¹⁵⁰ (<mark>51</mark>) <令和5年4月> 博士(文学)
		哲学			哲学			哲学
						兼任	講師	機田 啓洋 (51) <令和6年4月> 学士 (社会福祉学)
								教養特勝 亚
						兼任	講師	前野 明子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)
		三木 夏華			三木 夏華			生涯弗達論 三木 夏華
兼任	講師	ーパタッデ (49) <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ーパタ (49) <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	(50) <令和5年4月> 修士(文学)
		基礎中国語 I 基礎中国語 II			基礎中国語 I 基礎中国語 II			基礎中国語 I 基礎中国語 II
兼任	講師	崎向 幸江 (49) <令和15年4月> 短大2卒	兼任	講師	崎向 幸江 (49) <令和15 年 4 月> 短大2卒	兼任	講師	崎向 幸江 (<mark>50</mark>) <令和5年4月> 短大2卒
		代謝と栄養※			代謝と栄養※			代謝と栄養※
兼任	講師	上山 敬補 (48) <令和5年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	上山 敬補 (48) <令和5年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	上山 敬補 (49) <令和 5 年 4 月> 博士(経済学)
		倫理学			倫理学			倫理学
兼任	講師	松本 宏明 (47) <令和6年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	松本 宏明 (47) <令和6年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	松本 宏明 (47) <令和6年4月> 博士(教育学)
		家族看護論※			家族看護論※			家族看護論※
		<u> </u>			31			

専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		児玉谷 仁 (45) <令和 5 年 4 月> 博士(学術)			児玉谷 仁 (45) <令和5年4月> 博士(学術)			児玉谷 仁 (46) <令和5年4月> 博士(学術)
兼任	講師	環境科学	兼任	講師	環境科学	兼任	講師	環境科学
								松下 良介 (46) <令和6年4月> 博士 (医学)
						兼任	講師	健康障害とその治療Ⅱ※
		久留須 直也 (45) <令和6年4月>			久留須 直也 (45) <令和6年4月>			久留須 直也 (45) <令和6年4月>
兼任	講師	修士(社会福祉学) 暮らしをまもる制度	兼任	講師	修士(社会福祉学) 暮らしをまもる制度	兼任	講師	修士(社会福祉学) 暮らしをまもる制度
		宮元 一隆 (43) <令和6年4月>			宮元 一隆 (43) <令和6年4月>			
兼任	講師	医学博士 健康障害とその治療 II ※	兼任	講師	医学博士 / () () () () () () () () () (
		福永 善隆 (41)			福永 善隆 (41)			福永 善隆 (42)
兼任	講師	< 令和 5 年 4 月 > 博士(文学) 東洋史	兼任	講師	< 令和5年4月> 博士(文学) 東洋史	兼任	講師	< 令和5年4月> 博士(文学) 東洋史
		平野 拓朗 (41)			平野 拓朗 (42)			
兼任	講師	<令和5年4月> 博士 (人間. 環境学)	兼任	講師	<令和5年4月> 博士(人間. 環境学)			
		教育方法学 岩穴口 孝			教育方法学 岩穴口 孝			岩穴口 孝
兼任	講師	(41) <令和5年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	(41) <令和5年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	(42) <令和5年4月> 修士(医科学)
		看護学概論※			看護学概論※	学概論※	看護学概論※	
						兼任	講師	島山 陽子 (42) <令和6年4月> 修士(医科学)
								薬理学
						兼任	脓師	杉尾 由希子 (41) 〈令和6年4月〉 修士(医科学)
								業理学
兼任	講師	POLLARD PERCIVAL CONSTANTINE (39) <令和5年4月> Master of Arts(米国)	兼任	講師	POLLARD PERCIVAL CONSTANTINE (39) <令和5年4月> Master of Arts(米国)	兼任	講師	POLLARD PERCIVAL CONSTANTINE (40) <令和5年4月> Master of Arts(米国)
		英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション II			英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I			英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I
兼任	講師	岩川 拓夫 (38) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	岩川 拓夫 (38) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	岩川 拓夫 (39) <令和5年4月> 文学修士
70.4 100	1171	鹿児島の歴史 東西文化の交流	715 116	uryan	鹿児島の歴史 東西文化の交流	715 116	шушу	鹿児島の歴史 東西文化の交流
						***		Aaron Matthew Ozment (38) <令和6年4月> 修士(国際文化学)
						兼任	講師	英語オーラル・コミュニケーション I 英語オーラル・コミュニケーション I
*		吉田 拓真 (38) <令和6年4月> 博士 (理学)			吉田 拓真 (38) <令和6年4月> 博士(理学)			吉田 拓真 (38) <令和6年4月> 博士(理学)
兼任	講師	保健統計学	兼任	講師	保健統計学	兼任	講師	保健統計学
								野元 明日香 (38) <令和6年4月> 修士(徽青学)
						兼任	講師	生涯発達論
		宮路 真行 (37) <令和6年4月>			宮路 真行 (37) <令和6年4月>			宮路 真行 (37) (今和6年4月>
兼任	講師	法務博士(専門職)	兼任	講師	法務博士(専門職)	兼任	講師	法務博士(専門職)
		榊原 良太 (35) <令和5年4月>						
兼任	講師	博士(教育学) 社会心理学						
	l		<u> </u>			<u> </u>	1	<u> </u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任 補充			専任補充			専任補充		
柵尤		看護管理論※	細尤		看護管理論※	柵尤		看護管理論※

- 午前は、
 それぞれの年度の5月1日時点の演年前を記入してください。
 専任(得門職大学等は専、実尊、実 (研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 不要な年度 (令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 北海定規門の改正により、新日のサニッラと並行して実施している場合は、「担当限業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

【令和5年度】

1.河口朝子教授(専任)の就任が令和5年4月から令和6年4月に遅延に伴い、河口朝子教授(専任)の〈就任(予定)年月〉及び年齢を変更。 2.河口朝子教授(専任)の就任が1年遅れたことに伴い、1年次配当科目の「健康増進看護総論皿:成人老年保健」「暮らし探索フィールドワーク」について、 丹羽さよ子教授(専任)の令和5年3月 (第1回)教員審査中。 河口朝子教授(専任)の就任が1年遅れたことに伴い、1年次配当科目の「看護への招待」について、中俣直美准教授(専任)の令和5年3月(第1回)教 員審杳中, 日本日中。 ・西頭知子講師(専任)の年齢を、報告年度5月1日に伴い変更。 ・設置認可申請時は、大久保幸夫学長であったが、任期満了により令和5年4月の設置時から職名を学長から教授へ変更。 ・学長交代に伴い、「地域から世界へ」の科目担当を前大久保幸夫学長から小林潤司学長に変更。 ・山本晃正教授(兼担)の年齢を、報告年度5月1日に伴い変更。 担当教員の見直しにより、里園清孝教授(兼担)を削除。 9. 教育効果を高める為に、「音楽文化論」の科目担当、現員2名から長田新太郎教授(兼担)、及川寛繁教授(兼担)及び馬原裕子准教授(兼担)の3名を新た に追加変更 10.担当者の事情により、DAVID MCMURRAY教授(兼担)の「Global Economy and Business」の科目は、他の兼担教員が担当。 11. 担当者の事情にあり、いれば mominion(対対 (本注) の 'diobal Looinieng alia business」の付わば、記の本注教員が出当。 11. 担当者の事情により、TOLAMD SEAN HENRY教授 (兼担) の「英語オーラル・コミュニケーションⅠ」、「英語オーラル・コミュニケーションⅡ」及び小林潤 司教授 (兼担) の「英語ライティング」の科目担当を上村真之 (兼任) へ変更。 12. 役職変更により、「ボランティア活動」の科目担当を小林潤司教授 (兼担) から槙満信教授 (兼担) へ変更。 13. 本学の新規採用に伴い、「心理学」の科目担当に住田裕子教授(兼担)を追加。 |13.本学の新規採用に伴い、「心理学」の科目担当に住田裕子教授(兼担)を追加。
|14.木村拓准教授(兼担)、退職。
|15.武藤那賀子准教授(兼担)の「日本文学」については、大学の事情により、他の兼担教員が担当。
|16.濱中良助教(兼担)の『日本文学』については、大学の事情により、他の兼担教員が担当。
|16.濱中良助教(兼担)の退職に伴い、「スポーツ実習皿(個人種目)」の科目担当は吉本隆哉准教授(兼担)へ変更。「現代社会とスポーツ」、「スポーツ 習 I (屋内集団球技)」、「スポーツ実習 II (屋内個人球技)」、「スポーツ実習皿(個人種目)」の科目担当は加藤凌助教(兼担)に変更。
|17.大野陽子講師(兼担)の退職に伴い、「海外インターンシップ」及び「Global Economy and Business」の科目は他の兼担教員が担当。
|18.担当者の事情により、坂本育生講師(兼任)の「英語リーディング」と「英語ライティング」の科目担当を表正幸教授(兼担)に変更。
|19.担当者の事情により、「英語オーラル・コミュニケーション I 」及び「英語オーラル・コミュニケーション II 」の科目担当を山下孝子教授(兼担)及び
|DAVID MCMURN/教授(兼担)から新福豊実講師(兼任)へ変更。
|19.担当者の事情により 「知日学堂の科目相当を山下孝子教授(兼担)から丹羽佐紀講師(兼任)へ変更 「現代社会とスポーツ」、「スポーツ実 20.担当者の事情により、「外国文学」の科目担当を山下孝子教授(兼担)から丹羽佐紀講師(兼任)へ変更。 20.担当者の事情により、「外国文学」の担当者を榊原良太講師(兼任)から神薗紀幸講師(兼任)へ変更。 21.兼任教員辞退に伴い、「社会心理学」の担当者を榊原良太講師(兼任)から神薗紀幸講師(兼任)へ変更。 22.担当者の事情により、「英語オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語オーラル・コミュニケーションⅡ」の担当を表正幸教授(兼担)から蒲地賢一郎 (兼任) へ変更。 23.平井一臣講師 (兼任) の年齢を、報告年度5月1日に伴い変更。 24.設置認可申請書類として提出した教員名簿 (別記様式第3号(その2の1)について、侯德興講師 (兼任) の就任時における満年齢の誤りよる修正。 【令和6年度】 1.就任年月が令和5年4月になっている教員の年齢を1つ繰り上げ。 がはサイルでは、中央によりによりによりである。 河口教授の死去に伴い、削除。 上記2に伴い、「人間と看護」の担当者として山田巧教授を追加。令和5年11月教員審査済み

```
3.上記2に伴い、「人間と看護」の担当者として山田巧教授を追加。令和5年11月教員審査済み。
4.上記2に伴い、「健康增進看護総論皿:成人老年健康」信告し探索フィールドワーク」の担当者として丹羽さよ子教授を追加。令和5年6月教員審査済み。
5.上記2に伴い、「保康増進看護総論皿:成人老年健康回復ケアで論」の担当者として丹羽さよ子教授を追加。令和6年2月教員審査済み。
6.上記2に伴い、「看護への招待」の担当者として中俣直美准教授を追加。令和5年6月教員審査済み。
7.上記2に伴い、「看護展開基礎論」の担当者として中俣直美准教授を追加。令和5年6月教員審査済み。
8.上記2に伴い、「看護展開基礎論」の担当者として中俣直美准教授を追加。令和5年11月教員審査済み。
9.上記2に伴い、「健康回復過程論皿:人生の最期のとき・外来通院期の看護」の担当者として小玉博子准教授を追加。令和5年11月教員審査済み。
10.上記2に伴い、「健康回復看護総論実習」の担当者として小玉博子准教授を追加。令和5年11月教員審査済み。
11.上記2に伴い、「健康回復看護総論実習」の担当者として小玉博子准教授を追加。令和6年2月教員審査済み。
12.上記2に伴い、「成人老年健康回復ケア概論」の担当者として野中弘美講師を追加。令和6年2月教員審査済み。
13. 森勝彦教授(兼担)の退職に伴い、「地理学」の科目は岩として財金活の・第1月教員審査済み。
13. 森勝彦教授(兼担)の退職に伴い、「地理学」の科目は出路昌起講師(兼任)が担当。
14. 有松しづよ教授(兼担)の退職に伴い、「地理学」の科目は出路昌起講師(兼任)が担当。
15. 「日本文学」の科目は、末満一二三講師(兼任)が担当。「キャリア形成のための一般教養I」の科目は、内山仁准教授(兼担)が担当。「15.本やリア形成のための文章カ育成」の科目は、地の正正美講師(兼任)が担当。「5.本やリア形成のための文章カ育成」の科目は、教育効果を高めるために村瀬士朗教授(兼担)から武藤那賀子准教授(兼担)へ担当者変更。
16.本学の事情により、「英語リーディング」「英語ライティング」の科目は、表正幸教授(兼担)から新福豊実講師(兼任)へ担当者変更。「海外インターンシップ」の科目は、他の兼担教員が担当。
 |15. | 日本文字」の科目は、教育効果を高のるにめに村瀬工朗教授(末担)から風靡が具て海教授(東担)から新福豊実講師
|16. 本学の事情により、「英語リーディング」「英語ライティング」の科目は、表正幸教授(兼担)から新福豊実講師
|科目は、他の乗担教員が担当。
|17. 岩下 雅子准教授(兼担)、退職。
|18. 福田 正彦教授(兼担)の退職に伴い、「Global Economy and Business」の科目に今村隼人准教授(兼担)を追加。
18. 福田 正彦教授 (兼担) の退職に伴い、「Global Economy and Business」の科目に今村隼人准教授 (兼担) を追加。
19. 本学の役職人事に伴い、西宏樹准教授 (兼担) を教授へ昇格。
20. 本学の事情により、「スポーツ実習 V (屋外集団球技)」の科目を、加藤凌助教 (兼担) が担当。
21. 小林潤司学長の負担軽減に伴い、「コミュニケーションのための英文法」の科目を、坂本育生講師 (兼任) が担当。
22. 担当者の事情により、「健康障害とその治療 I 」の科目を、中島均講師 (兼任) から薗田正浩講師 (兼任) へ変更。
23. 担当者の事情により、「成人老年健康回復ケア概論」「老年健康回復ケア論」の科目に水主いづみ講師 (兼任) を追加。
24. 教育効果を高めるために、「成人老年健康回復ケア概論」「老年健康回復ケア論」の科目に水主いづみ講師 (兼任) を追加。
25. 担当者の事情により、「健康障害とその治療 II 」の科目を、恒松良祐講師 (兼任) から河野哲志講師 (兼任) へ変更。
26. 教育効果を高めるために、「教養特講 II 」の科目を、恒松良祐講師 (兼任) から河野哲志講師 (兼任) へ変更。
27. 担当者の事情により、「生涯発達論」の科目を、飯干紀代子講師 (兼任) から前野明子講師 (兼任) 及び野元明日香講師 (兼任) へ変更。
28. 担当者の事情により、「生涯発達論」の科目を、飯干紀代子講師 (兼任) からかいら前野明子講師 (兼任) へ変更。
29. 教育効果を高めるために、「薬理学」の科目に、鳥山陽子講師 (兼任) 及び杉尾由希子講師 (兼任) を追加。
30. 教育効果を高めるために、「英語オーラル・コミュニケーション I 」の科目に、AaronMatthewOzment講師 (兼任) を追加。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ま1
 - · A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

- (2) 専任教員数等
- (注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく 「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。
 - (2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項 により算出される専任教員数を記入してください。
 - ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。
 - (2) -② 専任教員等数【大学・高専】

		設置時	の計画				Į	見在(報告	時)の状況	ļ		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')	
8	6	4	8	26	3	7	6	4	8	25	4	
(7)	(6)	(4)	(8)	(25)	(4)							
	現在(報告時)の	完成年度時	∮の状況		現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')	
7	6	4	8	25	4	8	6	4	8	26	4	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入</u>するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合: Δ 1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	3	後任:	補充状	況	就	任辞退	【未	就任)の理	由	
	Ī					必修	J	、間と看護			1							
						必修	看	護への招待	寺		1							
						必修	生活:	機能援助ii 在宅展開·	・事		1							
						必修	看護	護展開基礎	論		1							
						必修	看護	展開基礎実	€習		1							
						必修		增進看護約 成人老年例			1							
1	1	教授	河口	朝子	R5. 8	必修	Ш:	回復過程詞 人生の最其 ・外来通際 護	男の		1		R5年8月	目に死る	きのた	:め就任辞退	<u>l</u> (6)	
						必修	成人老年	成人老年健康回復ケア概論			1							
						必修	老年	建康回復ケス	ア論		1							
						必修	健康回	回復看護総論	実習	1								
						必修	老年假	老年健康回復ケア論実習			3]					
						必修	看	護統合演習	I		3							
						必修	暮らし打	業索フィールド ワ	フーク		1		1					
						必修		≚業研究 I			3							
	_					必修	4	≚業研究Ⅱ			3							
-	_																	
-	4						-		-									
\vdash				ᅀᄘ	(D)			1	-			24.	任補充状況	の焦型	. (=	`		
<u> </u>	±±	IT + 3*	19 1 + 4 + 9			1数の合き	(-)	'h) . (a)	1	ΛΔ= 1	** (-)				•		L 米h / -	`
<u> </u>	豼	仕を辞	退した教員	以		数の合計			Ŭ		·数(a)		②の合計			③の合計		
	_			修	15	科目	必		11	科目	必修	0	科目	必修	4	科目		
	1 人			択	0	科目	選		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
			自	由	0	科目	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
				iii.	+	15	科目	譶	†	11	科目	計	0	科目	計	4	科目	

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	on ‡	担当予定科目	後	任初	前充状:	況		辞	任等	の理由		
			該当なし														
			合計	(F)				後任補充状況の集計(G))				
	辞	任し	た教員数 しんしゅうしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	担当科目	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の台	信	数(a))	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)			
				必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自	由	0	科目	自由	Ī	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ī	+	0	科目	計	1	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、 \mathbf{c} 年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理E に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)					①の合計	数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)					
		必修	15	科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	4 料目				
		選択	0	科目	選択	0 料目	選択	0 科目	選択	0 料目				
1	人	自由	0	科目	自由	0 料目	自由	0 科目	自由	0 料目				
		計	15	科目	計	11 料目	計	0 料目	計	4 科目				

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3) - ③合計(D)+(F) (2) - ②設置時の計画(A)	=	1 26	7 =	3.84	%
(2)一(2)設直時の計画(A)		20	_		

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- (3)一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況



- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞日	等の	理由		
			該当なし												
	<u> </u>		<u></u>	計						後任補充物	犬況の賃	集計			
	辞	任し	た教員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a)			②の合計数 (b) ③の合計数)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		0	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · <u>定年により退職した全ての専任教員について</u>、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理E に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退(未就任)1名の担当授業科目については、AC教員審査を受審のうえ、他の専任教員が担当することで、学生に不利益なく 開講できると考えている。 学生に対しては、オリエンテーションにて周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	1. 二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教いま育をで変に支配のないます。 育研究等に支配のないまままで、学生の課外活動等にも配慮すること。	豊 日全で伊敷キャンハ人で行ってい 履行済 豊 るため 数員のキャンパス問移動 履行済	看護学部学生の課外活動(学を大きについては、るサットでは、るサットでは、るけりでは、るが、なりでは、なが、なりでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないが、は、ないのでは、できないが、ないのでは、できないが、できないいいいいがいできないが、できないが、できないが、できないがいいいいがいいいいいがいいいいいがいいいいいいがいいいいいいいいいいい
認 可 時 (令和4年)	2. 専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を補充させること。	豊 日前し、番食を受ける予定でめ 履行中 豊 ス 現在け担当予定者に対し 当 履行中	「看護管理論」の最初の開講は 2026年(4年次)前期となっている ため、2025年度には科目担当者を 申請し、審査を受ける予定であ る。(5)(6)
認可時(令和4年)	3.規を割、まめ織いと、職員が当用で、職員が当門で、職員が当門で、職員が当門で、職員が当門で、職員が当門で、職員が当門で、職員が当門で、職員にのないに、職員が当門で、職員にも、職員にも、職員にも、職員にも、職員にも、職員には、職員には、職員には、職員には、職員には、職員には、職員には、職員には	豊 ミ室を中心に当該分野の教授、准 履行中	構るりに研に学援に学のミとむ費の研究へ 精想退補は後体のる学とで表示の研究を関うできる。 一個では、 を表示しているでは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個でででででででででででででででででででででででででででででででででででで

		(DD蔵任知学を 1 なった 1 なった 2 なった 3 なった 3 なった 3 なった 4 なっ	募り、鹿児島国際大学の定める教 員審査基準に則って後任を採用する計画である。(5)(6)
--	--	--	---

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>**

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ての限11仏が寺の参与や依拠となる具件がめれば、添りしてください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入試区分	①受験生の受験機会を高めるために変更
学校推薦型選抜試験 ・同一学園推薦型選抜 (募集人員5) ・学校推薦型選抜 C (同25)	学校推薦型選抜試験 ・学校推薦型選抜B(募集人員15) ・同一学園推薦型選抜(同5) ・学校推薦型選抜C(同10)
②入試選考方法に関わる選択科目 一般選抜の選択科目「日本史B」「世界史B」「地理B」 「政治・経済」「現代社会」「数学 I ・数学A」	②入学後の学習内容を鑑みて、左記選択科目に「生物基礎・生物」「化学基礎・化学」を追加

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
 - ・ 研究教育開発センター会議
 - · 看護学部FD委員会
 - b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・ 研究教育開発センター会議
 - ①研究教育開発センター長、副センター長、センター次長と各学部センター員7名の計10名で、原則月1回開催
 - 看護学部FD委員会
 - ①看護学部FD委員5名で月に1回開催
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ 研究教育開発センター会議
 - ①教育の質向上に向けた諸施策の企画・立案 ②教職員の研修、講演会の企画・実施 ③その他、センターの目的 達成のために必要な事項
 - · 看護学部FD委員会
 - ①FDの基本方針の策定に関する事項 ②FDの実施に関する事項 ③その他、委員会が必要と認めた事項
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - · 全学FD
 - ①授業アンケートの実施(中間授業アンケート、学期末授業アンケート、学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート)
 - ②授業公開・授業参観
 - ③FD·SD合同研修会·講演会
 - 4教員提案
 - 看護学部FD
 - ①授業案検討・ブラッシュアップ(生活機能援助論 V~IX、新入生ゼミナール、看護への招待、看護展開基礎論)
 - ②教員相互の授業参観(生活機能援助論、新入生ゼミナール、看護への招待、看護展開基礎論)
 - ③臨床判断に基づく看護実践の思考育成FD
 - ④FD研修会·講演会

- b 実施方法
 - 全学FD
 - ①研究教育開発センター会議で審議した研究教育開発センター活動方針に基づいて実施
 - 看護学部FD
 - ①看護学部FD委員会で作成したFD計画に基づいて実施
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - · 全学FD
 - ①授業アンケートの実施

中間授業アンケート 前期:5月7日~5月18日、後期:10月中旬実施予定

学期末授業アンケート 前期:7月8日~8月9日、後期:1月下旬~2月上旬実施予定

学生の学修時間・学修行動を把握するアンケート 後期:2~3月実施予定

②授業公開・授業参観

前期:6月上旬~7月下旬実施予定、後期:11月下旬~12月下旬実施予定

③FD·SD合同研修会·講演会

前期:7月上旬開催予定、後期:12月及び2月開催予定

4)教員提案

提案受付:4月1日~5月31日、採択提案の実施期間:6月~1月末

- · 看護学部FD
- ①別紙「看護学部FD計画·教室使用予定表」参照(看護学部全教員参加)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - · 全学FD
 - ①授業公開・授業参観…参観者は、担当教員へ授業の感想や参観者の授業改善に役立つ点を記載した授業参観 記録を提出している。これを参考に担当教員は授業改善に取り組んでいる。
 - ②FD研修会・講演会…全学で授業改善に関する課題や問題を共有し、これを踏まえ、各教員は今後の授業改善に取り組んでいる。
 - 看護学部FD
 - ①「生活機能援助論」「看護展開基礎論」「新入生ゼミナール」の授業内容を踏まえ、次週に実施する授業 内容を検討し改善を行っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 全教員 (専任教員及び非常勤講師) の授業を対象に中間授業アンケートと学期末授業アンケートをそれぞれ 前・後期の中間期と学期末の時期に実施している。 (学期末授業アンケートでは演習・実習は対象外)
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・ 各教員がアンケート結果を基にした今後の授業改善に対する所見を記載した報告を授業アンケート結果として冊子にまとめ、学内各所に配置し、学生や教職員に公開している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。
該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部は、看護学を発展させるための専門的な教育研究を行い、あらゆるいのちに思いやりと関心を持ち、その尊敬を護りつつ、倫理的・科学的態度を基に、人々の健康的な暮らしの実現に向けて、看護できる人材を養成することを目的とし、この目的に基づき、「いのちをとうとび、はぐくみ、つなぐことを基本姿勢とし、人々が地域において健康的な暮らしを営めるように、よりよい健康課題の解決法を探究しつつ取り組むことができる看護職」を人材養成像とし、その養成に取り組むこととしている。

令和6年度入学者数は、入学定員80名に対し、73名であった。引き続き積極的な広報活動による志願者確保を行い、 入学定員の充足に努めたい。

設置の趣旨・目的の達成に向けては、1年次においては、保健師・看護師教育課程を一体化した体系的な教育課程として、看護の対象を地域で生活する人として捉える視点を獲得できるよう、フィールドワーク等において、地域とのつながりを大切にした教育の実施に努めた。開設1年目であり、十分に評価できる段階にないが、養成する人材像と3ポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の相関に基づく教育を行うことで、設置の趣旨・目的を達成できるものと考える。今後も学年進行に従って、教員組織及び教育課程をはじめとする設置計画を確実に履行したい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和6年5月31日 公表(予定)
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(令和6年5月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和8年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0 1	〇 設置計画履行状況報告書(令和6年度)											
а	公表予定の有無	[有	•	無	J						
≪ a · b c	で「有」の場合≫ 公表(予定)時期 公表方法		調査結果公表		$\overline{}$	公表後2~3ヶ月以内その他(•	公表後3ヶ月以降)]			
	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	(]			

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。